

長野県立美術館の概要と事業運営

【令和5年度長野県立美術館協議会 説明資料】



令和5年(2023年)10月

 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

I 長野県立美術館の概要

I 沿革

時 期	内 容
昭和41年10月1日	財団法人信濃美術館開館
昭和44年6月1日	同美術館を長野県に移管 長野県信濃美術館発足
昭和61年4月1日	管理運営を(財)長野県文化振興事業団に委託
平成2年4月26日	東山魁夷館開館
令和3年4月10日	長野県立美術館開館

2 施設の概要

単位：㎡

	本館	東山魁夷館	合計
(1) 敷地面積	—	—	16,363
(2) 建築面積	4,541	1,316	5,857
(3) 延床面積	11,324	1,933	13,257
(4) 展示室面積	1,669	549	2,218
(5) 収蔵庫面積	1,049	170	1,218
(6) 構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階		

3 運営方針

当館では、「鑑賞」「学び」「交流」「研究」の4つの柱を軸に、郷土作家の作品、信州の風景画を中心とした近現代美術の収集とコレクション展や企画展の開催、美術団体などへの作品発表の場の提供、多様な学習プログラムの提供、館外における交流活動、近現代美術の研究・発信などを積極的に行っています。

これらの活動を通じて、美術家・学芸員・来館者など、そこに集うすべての人びとが互いに学び合う「人本位の美術館」であるとともに、暮らしに文化のうるおいと創造の喜びを吹き込み、さらに美術を通じて県内外を結ぶ「交流や観光の拠点」となる美術館を目指します。

そして、県民をはじめとする多くの皆様の「豊かで文化的な生活」と、「創造性あふれる人づくり」に貢献することが使命です。

4 収蔵作品

5,603点

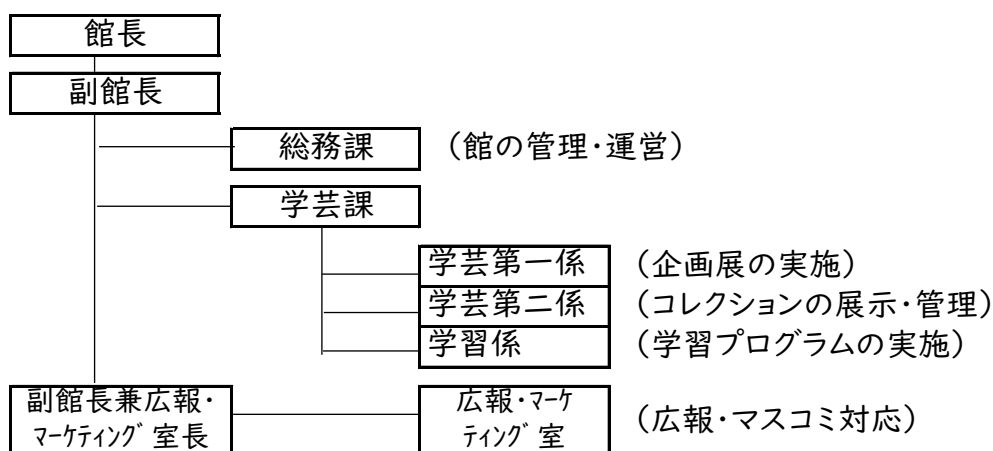
【内訳：本館コレクション4,624点 東山魁夷館 979点】

コレクションポリシー

- 長野県出身又は長野県に関係の深い芸術家の優れた近現代の作品（絵画、彫刻、水彩、素描、版画、工芸、デザイン、写真、映像など）
- 美しい山岳風景や精神文化に通じる作品、及び「自然」や「自然と人間」をテーマとした優れた近現代美術の作品
- 日本及び海外の近現代美術史上の重要作品
- 近現代美術史を理解する上で貴重な、散逸を防ぐべき作品群、及び美術資料群

5 組織体制

(1) 組織及び主な業務



(2) 職員体制

区分	正規職員	嘱託職員	派遣職員	臨時職員	合計
館長		1			1
副館長		1			1
副館長兼広報・マーケティング室長			1		1
次長兼総務課長		1			1
総務課	3	2		2	7
学芸課長			1		1
学芸第一係	3	2			5
学芸第二係	4	1		5	10
学習係	1	2			3
広報・マーケティング室	1	1			2
計	12	11	2	7	32

6 施設利用者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (9月30日現在)
常設展	117,319	97,665	59,257
企画展	183,173	238,863	75,497
交流展	1,487	1,084	
移動展	1,550	1,637	
学習交流	2,308	8,501	4,047
ライブラリー	25,011	12,597	5,836
貸館	30,523	24,696	14,615
無料ゾーン	425,892	504,774	161,002
合計	787,263	889,817	320,254

II 事業運営

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1) 企画展

企画展	企画展 1	企画展2
展覧会名	東京藝術大学スーパークローン文化財展	ふれてみて
日程	4月10日(土)から6月6日(日) 51日間	4月10日(土)～8月15日(日) *新型コロナウイルス感染症防止の観点から、開室せず。
内容	<p>新県立美術館の完成にあたり、美術館という施設の本質に関わる、公開と保存・修復・復元をめぐるさまざまな問題について考える展覧会を開催した。</p> <p>東京藝術大学が開発した最新のデジタル技術を駆使し、文化財を「スーパークローン」として、周囲の環境までも含めて精密に復元する方法により、バーミヤンやキジル、敦煌などの石窟寺院から法隆寺金堂の釈迦三尊像に至るまでの、仏教東漸の跡を記す「スーパークローン文化財」を展示した。</p> <p>周囲の環境までも含めて展示することで、近年の地球温暖化による気候の急激な変化や地域紛争の激化により、存亡の危険にさらされている文化財の保護と公開の問題について、新たな視点から考える機会とした。</p>	<p>新美術館本館2階に新設された「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示する「ラボ(実験室)」として、誰でも立ち寄り、アートに触れて、新たな発見が生まれる場となることを目指している。</p> <p>長野県は新美術館開館にあたって、「アートラボ」のためのオリジナル作品を制作する「新美術館みんなのアートプロジェクト」を実施。金箱淳一、中ハシクシゲ、西村陽平、光島貴之という4名の作家に作品制作を依頼した。本展は、その全作品を展示してご紹介するという企画であった。</p>
観覧料金	<p>一般1,400(1,200)円、大学生及び75歳以上1,200(1,000)円、高校生以下又は18歳未満無料</p> <p>東山魁夷館およびコレクション展との共通料金 一般1,700円、大学生及び75歳以上1,300円</p>	無料
主催等	<p>(主催)長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団 (共催)長野県教育委員会、東京藝術大学、SBC信越放送 (特別協力)東京藝術大学COI拠点、株式会社IKI (後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社</p>	<p>(主催)長野県、長野県立美術館、 (共催)長野県教育委員会</p>
イベント	<p>①対談講演「法隆寺釈迦三尊像のスーパークローン文化財展について」 講師:深井隆(東京藝術大学名誉教授)・松本透(館長)／日時:4月18日(日)14時00分～／場所:しなのスクエアホール／参加人数:35人</p> <p>②講演「美術品の複製や復元の可能性」 講師:平諭一郎(東京藝術大学特任准教授)／日時:5月15日(土)14時00分～／場所:しなのスクエアホール／参加人数:52人</p> <p>③ギャラリートーク(担当学芸員) 日時:4月29日(木・祝)11時00分～／参加人数:8人 4月30日(金)11時00分～／参加人数:18人 5月23日(日)11時00分～／参加人数:35人</p>	<p>①アーティストトーク 金箱淳一・中ハシクシゲ 講師:金箱淳一・中ハシクシゲ／日時:5月8(土)13:30～15:30／場所:レセプションルーム／参加人数:25名(大人21名子供4名)</p> <p>②クロストーク 金箱淳一・中ハシクシゲ 講師:金箱淳一・中ハシクシゲ／日時:5月9日(日)10:00～14:00／場所:レセプションルーム／参加人数:12名</p> <p>③アーティストトーク 西村陽平・光島貴之 講師:西村陽平・光島貴之／日時:6月26日(土)13:30～15:30／場所:レセプションルーム／参加人数:27名</p> <p>④レセプションルーム クロストーク 西村陽平・光島貴之 19名 ／講師:西村陽平・光島貴之 日時:6月27日(日)10:00～14:00／場所:レセプションルーム／参加人数:19名</p>
入館者	入館者数 29,680人(有料:22,588人 無料:7,092人)	
収入額(円)	14,679,400	0
支出額(円)	7,488,297	480,034
差引額(円)	7,191,103	△ 480,034
担当学芸員	田中正史、赤津將之、鈴木幸野	木内真由美・竹花藍子

II 事業運営

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1) 企画展

企画展	企画展 3	企画展 4
展覧会名	Something there is that doesn't love a wall— 榎原澄人×ユーフラテス	めぐりあいJAXA—ながのとながめ
日程	4月10日(土)から8月15日(日) 111日間	6月19日(土)から8月15日(日) 51日間
内容	県立美術館は、リニューアルオープンを契機に、長野県と映像メディアの深いつながりをつまみ、写真、ビデオ、アニメーションなどの紹介にも取り組んでいくこととなった。新たな試みとして、約2年間にわたって実施した、新設される「交流スペース」のためのコミッションワーク「新美術館みんなのアートプロジェクト」(映像)のお披露目企画として、榎原澄人《飯縄縁日》とユーフラテス《1本の線》の上映展示を行った。	近年、著しい技術進歩を遂げ、また多くの映像作家、写真家のインスピレーションの源となっている宇宙観測技術をテーマに、宇宙航空研究開発機構(JAXA)が開発・運用する人工衛星「だいち」の高精細画像を映像作品化した《長野 2007年》を関連作品とともに展示。
観覧料金	無料	無料
主催等	(主催)長野県、長野県立美術館	(主催)長野県、長野県立美術館 (共催)長野県教育委員会 (協力)国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (共同キュレーション)澤隆志
イベント	①アーティストトークA 登壇者:榎原澄人、うえ田みお(リモート登壇)、山本晃士ロバート(同)、松井正(当館学芸員)／ 日時:5月1日(土)14:00~15:00／場所:長野県立美術館1階交流スペース／参加人数:44人 ②夜間上映会 日時:5月4日(火)17:00~20:00／場所:長野県立美術館1階交流スペース／参加人数:67人 ③アーティストトークB 登壇者:榎原澄人、中尾太一(詩人)、松井正(当館学芸員)／日時:5月29日(土)14:00~15:00／場所:長野県立美術館1階交流スペース／参加人数:30人 ④アーティストトークB 登壇者:うえ田みお(リモート登壇)、山本晃士ロバート(同)、松井正(当館学芸員)／ 日時:7月24日(土)14:00~15:00／場所:長野県立美術館1階交流スペース／参加人数:22人	Screening & Talk 登壇者:度會英教(JAXA先進光学衛星プロジェクトチーム)、澤隆志(インディペンデントキュレーター)、松井正(当館学芸員)／日時:8月7日(土)14:00~／場所:長野県立美術館 展示室1／参加人数:28人
入館者		入館者数 23,491人
収入額(円)	0	0
支出額(円)	286,402	7,556,744
差引額(円)	△ 286,402	△ 7,556,744
担当学芸員	松井正、古家満葉	松井正、池田淳史

II 事業運営

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1) 企画展

企画展	企画展5
展覧会名	つながる美術館 宮崎浩とランドスケープ・ミュージアム
日程	6月19日(金)～8月15日(日) 51日間
内容	<p>令和3年4月10日、周囲の環境と調和する“ランドスケープ・ミュージアム”として新たに生まれかわった。設計を担当した建築家・宮崎浩は、この建築コンセプトを実現するため、周囲の環境と「つながる美術館」をキーワードに設計を進め、ランドスケープ・ミュージアムの完成に至ることとなった。</p> <p>本展では、「つながる美術館」がどのような過程を経て完成に至ったか、宮崎を中心に様々な角度からその取り組みを概観し、美術館建設に関わった多くの人々の思い、そして、完成した美術館の見どころなど、新たに生まれかわった長野県立美術館の全貌を紹介した。</p>
観覧料金	無料
主催等	<p>(主催)長野県、長野県立美術館、 (共催)長野県教育委員会 (後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、長野県美術教育研究会、JR東日本 長野支社</p>
イベント	<p>①講演会 講師：宮崎浩氏(建築家、長野県立美術館設計者)／ 日時：7月18日(日) 13:30～15:00／場所：長野県立美術館ホール／参加人数：55人</p> <p>②宮崎浩の建築ツアー 7月3日(土)／参加人数：10人 8月9日(月・祝)／参加人数：10人 ※手話通訳、要約筆記付き</p>
入館者	入館者数 20,921人
収入額 (円)	0
支出額 (円)	4,280,205
差引額 (円)	△ 4,280,205
担当学 芸員	上沢修、竹花藍子

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1)企画展

企画展	企画展 6
展覧会名	10 Mame Kurogouchi
日程	6月19日(土)から8月15日(日) 51日間
内容	<p>2021年春のリニューアルオープンに合わせ、長野県立美術館は美術館スタッフのユニフォームを一新した。ユニフォームをデザインした、ファッションブランド「Mame Kurogouchi(マメ クロゴウチ)」を手掛ける黒河内真衣子は、2018年よりパリでコレクションを発表している長野県出身のデザイナーであり、国内外にて高い評価を受けている。</p> <p>「10 Mame Kurogouchi」(テン マメ クロゴウチ)と題する本展は、日本を代表するファッションブランドであるMame Kurogouchi (マメ クロゴウチ)の美術館では初となる単独での展覧会であり、ブランドの立ち上げから10年間に及ぶ黒河内のデザインの軌跡が、これまで発表されたコレクションの通奏低音である10個のキーワード(「ノート」「曲線」「刺繍」「長野」「色」「クラフト」「私小説」「夢」「テクスチャー」「旅」)から、デザイナー自身のダイアリー、着想源となった品々や写真、テキスト、オリジナルのテキスタイル、コレクションのアーカイブなどを用いて多角的に紐解かれた。</p>
観覧料金	一般500円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
	東山魁夷館との共通観覧料 一般800円
主催等	<p>(主催)長野県、長野県立美術館 (共催)株式会社黒河内デザイン事務所、長野県教育委員会 (協力)GALLERY-SIGN、公益財団法人致道博物館、有限会社弘前こぎん研究所、モレスキン・ジャパン株式会社</p> <p>会場構成: 中原崇志 告知グラフィックデザイン: 鈴木聖 会場グラフィックデザイン: 田部井美奈 会場施工: HIGURE 17-15 cas</p>
イベント	<p>「10 Mame Kurogouchi」展トークショー 出演者: 黒河内真衣子(Mame Kurogouchi デザイナー)、中原崇志(建築家/「10 Mame Kurogouchi」展会場設計)、伊藤総研(編集者/作品集『10 Mame Kurogouchi』編集) / 日時: 8月8日(日) 13:00~15:00 / 場所: 長野県立美術館レセプションルーム / 参加人数: 36人</p>
入館者	20,987人(有料: 15,054人 無料: 5,933人)
収入額 (円)	4,470,856
支出額 (円)	7,635,954
差引額 (円)	△ 3,165,098
担当学芸員	鈴木幸野 古家満葉

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1)企画展

企画展	企画展7
展覧会名	森と水と生きる
日程	8月28日(土)から11月3日(水・祝) 50日間
内容	<p>長野県は、県境に「日本アルプス」と称される標高2000メートル以上の山々がそびえ、豊かな森林と清流の雄大な自然に抱かれた、日本を代表する山岳県・森林県であり、その豊かな自然風土の中で、人々は暮らしを営み、文化芸術を育んできた。</p> <p>その長野県で、唯一の県立美術館のグランドオープン記念である本展では、自然と人間が共存する中で生み出されてきた、近代から現代までの絵画、彫刻、工芸、写真、インスタレーションなど、日本を代表する優れた美術作品を紹介し、私たちに精神的な癒しや恵みをもたらすだけでなく、猛威をふるって生活や人命をも脅かす存在となりうる自然と、美術とがどのように関わってきたかに焦点を当て、5つの章から構成される展示を行なった。</p>
観覧料金	<p>一般1,000(900)円、大学生及び75歳以上800(700)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度</p> <p>東山魁夷館およびコレクション展との共通料金 一般1,500円、大学生及び75歳以上1,100円</p>
主催等	<p>(主催)長野県、長野県立美術館、 (共催)長野県教育委員会 (後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ 文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業</p>
イベント	<p>①アーティストトーク「森と水と生きる——自然と人間の共生」 講師：山口啓介・須田悦弘・大小島真木・松本透(当館館長)／日時：9月11日(土)14時00分から／オンライン配信</p> <p>②スライドトーク(担当学芸員) 日時：9月20日(月・祝)14時00分～15時00分／場所：レセプションルーム／参加人数：12人 10月9日(土)14時00分～15時00分／場所：しなのスクエアホール／参加人数：14人 10月16日(土)14時00分～15時00分／場所：レセプションルーム／参加人数：9人 10月23日(土)14時00分～15時00分／場所：レセプションルーム／参加人数：9人 10月30日(土)14時00分～15時00分／場所：レセプションルーム／参加人数：10人 ※手話通訳付き</p>
入館者	20,860人(有料:12,711人 無料:8,149人)
収入額(円)	36,415,900
支出額(円)	34,445,035
差引額(円)	1,970,865
担当学芸員	田中正史、木内真由美、上沢修、鈴木幸野、松井正、古家満葉

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1)企画展

企画展	企画展8
展覧会名	東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展
日程	11月19日(土)から令和4年1月16日(日) 46日間
内容	<p>静謐な抒情性を湛えた風景画で今なお多くの人々の共感を得ている日本画家、東山魁夷。長野県および当館にゆかりの深い東山の、記念碑的大作である唐招提寺御影堂障壁画全68面を、唐招提寺御影堂の内部を再現し展示した。当館所蔵のスケッチや下絵を併せて観覧でき、障壁画制作の過程をたどることができるような会場構成とした。</p> <p>また、東山魁夷館を有する当館独自の企画として、障壁画制作の過程で生まれた連作「白い馬の見える風景」や、水墨表現追求の過程が窺える《瀧江暮色》等を出品。唐招提寺御影堂障壁画を軸に、東山晩年期の多様な表現を総覧できる内容を目指した。</p>
観覧料金	一般1,500(1,400)円、大学生1,300(1,200)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度
主催等	<p>(主催)長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、日本経済新聞社 (共催)長野県教育委員会 (後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社</p>
イベント	<p>①スライドトーク 講師：鈴木幸野／日時：11月20日(土)15:00～16:00 場所：長野県立美術館レセプションルーム／参加人数：21人</p> <p>②講演会「東山魁夷の水墨画と唐招提寺御影堂障壁画」 講師：鶴見香織(東京国立近代美術館 主任研究員) 日時：11月28日(土)14:00～15:30／場所：長野県立美術館レセプションルーム 参加人数：27人</p> <p>③スライドトーク 講師：鈴木幸野／日時：12月26日(日)15:00～16:00 場所：長野県立美術館レセプションルーム／参加人数：23人</p> <p>※手話通訳付き</p>
入館者	61,757人(有料:51,889人 無料:9,868人)
収入額 (円)	24,345,034
支出額 (円)	12,086,021
差引額 (円)	12,259,013
担当学芸員	鈴木幸野、竹花藍子

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(1)企画展

企画展	企画展 9
展覧会名	生誕100年松澤宥展
日程	令和4年2月2日(水)～2022年3月21日(月) 42日間
内容	<p>松澤宥(1922-2006)は、長野県諏訪郡下諏訪町に生まれ、同地を拠点に国内外に芸術を発信しつづけた、日本を代表するコンセプチュアル・アーティスト。2022年の松澤宥生誕100年にあたり、生涯をたどる回顧展を開催した。</p> <p>本展では、芸術家としての原点である建築や詩から、美術文化協会や読売アンデパンダン等に出品された絵画やオブジェ、1964年に「オブジェを消せ」という啓示を受ける前後より国内外で発表された言語による作品やパフォーマンスまで、松澤の多彩な作品や活動を資料や写真を交えて紹介した。また、同時代の批評家や作家が多く訪れた伝説のアトリエ「プサイの部屋」については、一部を再現するとともにVRで体験できる展示も行った。</p>
観覧料金	一般800(700)円、大学生および75歳以上600(500)円、高校生以下無料、その他割引制度
主催等	<p>(主催)長野県、長野県信濃美術館、</p> <p>(共催)長野県教育委員会</p> <p>(後援)長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ</p> <p>(協力)一般財団法人松澤宥プサイの部屋、信州大学工学部建築学科寺内研究室</p> <p>(助成)文化庁 令和2年度第3次補正 地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業(国内需要喚起型)</p>
イベント	<p>①～③は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客で開催し、後日、その模様を映像で配信した。</p> <p>①【配信】記念講演会：見えないものを観るために—松澤宥の過去・現在・未来／講師：富井玲子(美術史家・「ポンジャ現懇」主宰)／配信</p> <p>②クロストーク：「オブジェを消せ」前夜—松澤宥の初期ドローイングとオブジェ／講師：千葉成夫(美術評論家)、梅津庸一(美術家・美術共同体「パープルーム」主宰) 聞き手：木内真由美(当館学芸員)／配信</p> <p>③鼎談：松澤宥の共同体幻想—〈ニルヴァーナ〉のころ／講師：田中孝道(美術家)×春原敏之(美術家) 聞き手：木内真由美(当館学芸員)／配信</p> <p>【中止イベント】</p> <p>④、⑤は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの開催は中止</p> <p>④松澤宥パフォーマンス映像上映会 2月22日(火)／午後2時2分～／B1Fホール／定員：50名＊当日先着順(受付午後2時～)</p> <p>⑤担当学芸員によるスライドトーク(手話通訳つき)日程：2月27日(日)・3月13日(日)／午後2時2分～／レセプションルーム／定員：30名＊当日先着順(受付午後1時30分～)※手話通訳つき 要約筆記付き</p>
入館者	5,477人(有料：3,460人 無料：2,017人)
収入額(円)	21,908,800
支出額(円)	31,720,137
差引額(円)	△ 9,811,337
担当学芸員	木内真由美、古家満葉

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(2) NAMコレクション展

区分	I 期	II 期	III 期
会期	8月28日(土)から10月26日(火)(43日間)	10月28日(木)から令和4年1月11日(火)(59日間)	令和4年1月13日(木)から3月15日(火)(55日間)
内容	<p>今年度は「名品選」と称して、収蔵品の中から選りすぐりの作品約140点を三期にわたって展示した。洋画、日本画、工芸等様々なジャンルの「名品」たちが一堂に会するまたとない機会となった。</p> <p>第I期は、グランドオープン後最初のコレクション展を祝して、当館の言わば「顔」となる43点が並ぶ内容となった。日本画の大家、菱田春草の《羅浮仙》や日本における洋画の先駆的存在である川上冬崖の《ナポレオン》といった、県内出身作家の作品は勿論のこと、河野通勢《裾花川の河柳》、川瀬巴水《木曾の須原》等信州の風景を捉えた作品も紹介した。</p>	<p>林倭衛《出獄の日の〇氏》や菊池契月《光明皇后》といった人物画の秀作、そして安井曾太郎、金山平三ら洋画の大家による秋冬の信州を描いた風景画を展示した。</p>	<p>菱田春草《伏姫(常盤津)》や春草と横山大観、西郷孤月の合作など、日本美術院の精鋭たちの絵画が並んだ。また、荻原碌山、村山槐多ら夭折の芸術家たちによる、強烈な個性が発揮された作品も紹介した。</p>
イベント	<p>ギャラリートーク</p> <p>8月29日(土)※新型コロナウイルスにより中止 9月18日(土)新型コロナウイルスにより中止 10月16日(土)※参加人数:7人 ※手話通訳付き</p>	<p>ギャラリートーク</p> <p>11月20日(土)参加人数:9人 12月18日(土)※参加人数:8人 ※手話通訳、要約筆記付き</p>	<p>ギャラリートーク</p> <p>11月15日(土)新型コロナウイルスにより中止 2月19日(土)新型コロナウイルスにより中止</p>
入館者	18,164人(有料:12,834人 無料:5,330人)	40,395人(有料:28,641人 無料:11,754人)	20,933人(有料:16,052人 無料:4,881人)
収入額 (円)	17,157,752		
支出額 (円)	8,564,384		
差引額 (円)	8,593,368		
担当学芸員	池田淳史	池田淳史	池田淳史

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(3) 東山魁夷館

区分	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期	VI 期
会期	4月15日(木)～6月1日(火)(42日間)	6月3日(木)～7月27日(火)(48日間)	7月29日(木)～10月5日(火)(52日間)	10月7日(木)～12月7日(火)(54日間)	12月16日(木)～令和4年2月8日(火)(43日間)	令和年2月10日(木)～4月12日(火)(54日間)
内容	《緑響く》と《水辺の朝》、《山霊》や《春兆》、《静かな町》を中心に、「京洛四季」シリーズの習作18点、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた「窓」をテーマにした小品の連作スケッチを紹介した。	《灘江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》、《夕静寂》といった魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作や関連作品及び戦前の初期時代に描いたスケッチをご覧いただいた。	連作「白い馬の見える風景」から《白馬の森》と15点の習作、飯山市の希望湖を描いた《静映》、また、《沼》や《沼の静寂》、《緑の窓》など夏の爽やかな風景を描いた作品をご紹介します。	東京美術学校時代に制作した《柿生の里》や《山谿秋色》の初期作品と、本制作の《夕紅》や《紅鷺》、《紅葉の谷》など秋色の風景を象徴的に描いた作品を展覧した。	東山ブルーを代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、《行く秋》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた秀作を展示します。また、「北欧風景」及び「京洛四季」シリーズからスケッチ、習作をご覧いただいた。	信州の冬景をあたたかな眼差しで描いた《静晨》《霧氷の譜》、連作「大和春秋」のスケッチ、習作18点と本制作《秋思》など古都奈良の美しい自然の風景を描いた名品を一堂に展示した。
イベント	ギャラリートーク 4月17日(土) 参加人数:23人、 5月9日(土) 参加人数:20人 ※手話通訳付き	ギャラリートーク 6月12日(土) 参加人数:30人、 7月10日(土) 参加人数:38人 ※手話通訳付き	ギャラリートーク 8月14日(土) 参加人数:30人、 9月11日(土) 新型コロナウイルス感染拡大により中止	ギャラリートーク 10月9日(土) 参加人数:10人 11月13日(土) 参加人数:23人 ※手話通訳付き	ギャラリートーク 12月11日(土) 臨時休館により中止 1月8日(土) 参加人数:45人 ※手話通訳付き	ギャラリートーク 2月12日(土)、 3月12日(土) 新型コロナウイルス感染拡大により中止
入館者	17,291人(有料:12,305人、無料:4,986人)	14,991人(有料:11,298人、無料:3,693人)	19,121人(有料:14,414人、無料:4,707人)	31,683人(有料:22,165人、無料:9,518人)	22,343人(有料:16,860人、無料:5,483人)	中止
収入額(円)	25,434,048					
支出額(円)	1,992,861					
差引額(円)	23,441,187					
担当学芸員	上沢修	上沢修	上沢修	上沢修	上沢修	上沢修

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(4)オープンギャラリー

展覧会名	美術館のある街・記憶・風景 「日常記憶地図」で見る50年	富長敦也 Love Stone Project-Nagano
日程	4月10日(土)から6月27日(日)(69日間)	7月1日(木)から7月27日(火)(24日間)
内容	<p>美術館を取り巻く社会に美術を介して積極的に関わる場である「オープンギャラリー」に、言語化や媒介的なコミュニケーションをテーマとする表現活動を行い、「日常記憶地図」というメソッドを展開するサトウアヤコを招へいた。</p> <p>作品《日常記憶地図 長野編1950s-2020》では、美術館周辺地域に住み、年代もバラバラな9名の1950年代から2000年代までの、その人を通して見た街の記憶が並んだ。これは、「日常記憶地図」によって集められた語りの中から、サトウが注意深く場所の記憶だけを取り出したもの。各人の記憶の多くは、「善光寺」「城山公園」「権堂」など同じ場所について語られていて、読み進めるうちに、サトウが「日常記憶地図」を行った後、語りの中に出てきた場所を実際に訪ね歩く様を追体験し、歴史書にも載っていない、自分だけのこの街の姿を思い描くことができる。</p> <p>会場で想起された場所や風景の記憶についてカードに記入し、それを読むことができる《あなたの場所の記憶》という作品も同時に展示。</p>	<p>県立美術館の建設工事の際、地上からおよそ6メートル掘ったあたりで、直径2メートル、高さ1.5メートル程度の3つの巨石が出てきたことから、彫刻家・富長敦也による「Love Stone Project-Nagano」が始まった。本館1階交流スペース外に設置した石は、2021年5月より来館者とともにヤスリで磨かれ、その姿を変えていった。</p> <p>本展では、3つの巨石の発掘から、来館者とともに石を磨く「石磨きワークショップ」の開催にいたるまでの経過を振り返るとともに、富長が日本国内はもとより、世界を旅して、その土地で出会う人々と一緒に石を磨くプロジェクト「Love Stone Project」を紹介した。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	<p>主催：長野県、長野県立美術館 アーティスト：サトウアヤコ 展示・グラフィックデザイン：高橋静香 協力：日常記憶地図インタビューにご協力いただいた皆さま、小林竜太郎 写真提供：長野市公文書館、清水隆史、内山温那、山口高治郎 地図提供：昭文社、塔文社</p>	(主催)長野県、長野県立美術館
イベント	<p>①アーティストトーク 日時：5月22日(土)13:30～15:00 講師：サトウアヤコ 場所：交流スペース 参加人数：18人 ※</p> <p>②「日常記憶地図」ワークショップ 講師：サトウアヤコ 場所：レセプションルーム</p> <p>◆長野市街地対象 日時：5月23日(日)13:30～16:30 参加人数：5人</p> <p>◆長野市街地以外対象 日時：6月12日(土)13:30～16:30 参加人数：5人</p>	Love Stone Project-Nagano石磨きワークショップ 5月～10月の土日開催(計18日間) 参加者 1,787人
入館者		
収入額(円)	0 (年間)	
支出額(円)	4,956,894 (年間)	
差引額(円)	△ 4,956,894 (年間)	
担当学芸員	霜田英子、竹花藍子	青山由貴枝、塚本かな恵

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(4)オープンギャラリー

展覧会名	小松美羽 2021夏—祈りと交感—	中谷芙二子 Dynamic Earth
日程	7月29日(木)から8月24日(火)(25日間)	8月27日(金)から10月3日(日)(33日間)
内容	<p>埴科郡坂城町出身の若手芸術家・小松美羽(1984～)による作品を紹介した。展示作品: 13点 + ライブペインティング映像</p> <p>小松美羽:長野県埴科郡坂城町生まれ。2004年女子美術大学短期大学部卒業。銅版画やアクリル画を手掛ける。2014年出雲大社に作品を奉納。翌年、「チェルシーフラワーショー」(ロンドン)に石原和幸(庭園デザイナー)とコラボで出品した有田焼狛犬作品が大英博物館へ收藏される。2019年ヴェネチアビエンナーレ・シネマ部門にて台湾のHTCとコラボしたVR作品がノミネート。近年は東京と信州を拠点にアジア各国で個展、ライブペインティングを行い多方面の活動を展開している。</p>	<p>県立美術館に常設された《霧の彫刻》を顕彰して、「霧のアーティスト」であり日本におけるビデオ・アートの先駆者として知られる中谷芙二子(1933-)の活動を紹介した。</p> <p>中谷は、1970年の大阪万博において初めて人口の霧でペプシ館のドーム全体を覆う「霧の彫刻」を発表して以来、環境によって変化する霧を用いた美術作品の制作に取り組んできた。その一方で、1972年に山口勝弘、かわなかのぶひろら有志と実験的映像グループである「ビデオひろば」を結成。1980年には原宿にビデオ・アート専門の「ビデオギャラリーSCAN」を開設するなど、日本のビデオ・アート界において重要な位置を占めてきた。本展では、これまでに制作された霧作品の記録映像と当館の常設する「霧の彫刻」の紹介に加え、中谷の初期作品と略年譜を展覧し、その実践的な活動を概観していただく機会とした。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	(主催)長野県、長野県信濃美術館、NBS長野放送	(主催)長野県、長野県立美術館 (協力)株式会社プロセスアート
イベント	<p>①ライブペインティング 日時:7月25日(土)14:00～15:30 場所:長野県立美術館ホール 参加人数:70人</p> <p>②番組制作 放映日時:8月7日(土)10:45～11:15 「ふるさとを想い 世界に羽ばたく ～現代アーティスト 小松美羽～」</p>	
入館者	15,671名	4,717人
収入額(円)	—	—
支出額(円)	—	—
差引額(円)	—	—
担当学芸員	霜田英子、茂原奈保子	茂原奈保子、霜田英子、古家満葉

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(4)オープンギャラリー

展覧会名	公開制作vol.1 源馬菜穂 絵とつながり	長野県内アートプロジェクトアーカイヴス vol.1 木曾ペインティングス「木曾馬に引かれて善光寺」
日程	10月9日(土)から12月19日(日)(63日間)	令和4年1月8日(土)から3月29日(火)(71日間)
内容	<p>公開制作は作家が一定期間美術館に通い、作品を制作の様子を公開し、作品展示を行う企画であり、「オープンギャラリー」にて実施するプログラムとして今年度から新たに始まった。</p> <p>初回となった今年度は、県内岡谷市を拠点とするペインターの源馬菜穂(1984-)を招聘した。</p> <p>制作期間中、オープンギャラリーには作家が普段使用している画材や道具、什器等を持ち込みアトリエを設け、10日間にわたって滞在制作を行った。イベント「オープンアトリエ」ではアトリエを開放し、制作風景や作品をより近くで鑑賞したり、作家と交流したりすることができる機会を設けた。</p> <p>後半の展示期間では、前半に制作した未完成の作品に加え、過去作品、アトリエの一部をあわせて展示した。制作中の作品と完成作品、そして制作に用いる道具を同時に紹介することで、来館者に作品をより深く理解していただくことを目指した。また展示期間中のイベントとして、作家のデモンストレーションのもと、水彩絵具で参加者の好きな風景を描くワークショップを開催した。参加者に作家の制作の手法を伝えることで、作家の視点(風景のとらえ方や絵具の扱い方など)を踏まえた作品制作を体験していただく機会となった。</p>	<p>長野県内アートプロジェクトアーカイヴスは、県内のアート活動の活況を紹介することを目的に今年度から新たに始まったプログラムである。</p> <p>初回となった今年度は、2017年から木曾地域で実践されているアートプロジェクト「木曾ペインティングス」を取り上げた。同アートプロジェクトにて過去に開催された芸術祭の作品とアーカイヴ資料の展示に加え、中長期的なプロジェクトや次年度以降の計画について、写真や動画によって紹介した。木曾地域は長野県立美術館が位置する長野市から100kmほど南方に位置しているため、普段は現地に足を運ぶことが難しい方に活動を知っていただく機会となった。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	(主催)長野県、長野県立美術館	(主催)長野県、長野県立美術館 (協力)木曾ペインティングス実行委員会
イベント	<p>①オープンアトリエ 日時:11月7日(日)13:30~15:30/参加人数:30人 場所:長野県立美術館 オープンギャラリー</p> <p>②ワークショップ 「水彩絵具であなたの好きな風景を描き、グリーティングカードを作ろう」 日時:12月5日(日) (1)10:00~12:00(2)14:00~16:00 講師:源馬菜穂 参加人数:(1)11人(2)8人 場所:長野県立美術館 レセプションルーム</p>	<p>「木祖村キャラバン 新春!ステージ!木祖村スタアはどこまでも」 同時開催:「こども獅子舞い」映像上映 日時:2022年1月9日(日)14:00~15:30/ 参加人数:50人 場所:長野県立美術館 交流スペース ※2/26(土)に開催を予定していたアーティストトーク 登壇予定:岩熊力也(木曾ペインティングス代表、美術家)、近藤太郎(木曾在住アーティスト)、巢山和寛(住民代表スタア)は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p>
入館者	入場者数 13,089人	入場者数 8,325人
収入額(円)	—	—
支出額(円)	—	—
差引額(円)	—	—
担当学芸員	茂原奈保子、霜田英子	霜田英子、茂原奈保子

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(5) アートラボ

展覧会名	アートラボ2021第Ⅰ期 光島貴之展 でこ・ぼこ・ながの	アートラボ2021第Ⅱ期 西村陽平展 彫刻を見るとき、耳を澄ます
日程	8月28日(土)から10月26日(火) ※新型コロナウイルス感染拡大により、会期を変更して開催 令和3年10月8日(金)から令和4年1月11日(火)(77日間) ※新型コロナウイルス感染拡大により、1月11日はアートラボを休室。	令和4年1月15日(土)から4月19日(火) ※新型コロナウイルス感染拡大により、会期を変更し、触れずに鑑賞する展覧会として開催。令和4年3月11日(金)から令和4年7月26日(火)
内容	2021年度の第Ⅰ期展覧会では、光島貴之を紹介した。 2019年にアートラボで展示するためのふれる美術作品の依頼を受けた光島は、2度長野への取材旅行を実施。建築中の美術館や善光寺の他、周辺の商店や喫茶店、協会などを訪れ、戸隠にも足を延ばし作品を制作した。全盲である作家が手のひらや足の裏で、音や風で感じた長野の風景を、作品を通して体験し、視覚以外の感覚も使った鑑賞を来場者へ提供した。	2021年度の第Ⅱ期展覧会では、西村陽平を紹介した。 西村は、「見えていても、触らなければわからないもの」を主題とし、身近にあったものに、焼成という陶芸のプロセスを加えることで、形を変え、素材の違いを際立たせる作品を制作した。視覚ではわからなかった作品の温度や質感、素材の新しい肌触りを体験する機会を提供した。
観覧料金	無料	無料
主催等	(主催)長野県、長野県立美術館	(主催)長野県、長野県立美術館
イベント		
入館者	1,441人	890人(3月11日から3月31日まで)
収入額(円)	0	
支出額(円)	1,931,366	
差引額(円)	△ 1,931,366	
担当学芸員	青山由貴枝	青山由貴枝

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(6) 交流展・移動展

	交流展	移動展1
展覧会名	佐久の風景と生命の輝き 長野県立美術館交流名品展	2021年度長野県立美術館移動展in伊那文～県美コレクション展がまるごとやってくる～
日程	9月11日(土)～11月7日(日)46日間	11月2日(火)～11月28日(日)24日間
内容	<p>交流展は、県内各地域の美術館とともに企画・立案し実施する展覧会である。当館のコレクションをより多くの方に公開すること、県内地域の中核となる美術館と共催することで美術館や学芸員どうしの相互連携を深めることを目的としている。</p> <p>また、展覧会では共催館の特色を打ち出し、地縁ある作家たちの作品を中心に展示することで、地域の魅力を再発見する機会としてもらうことを目指している。</p> <p>本年度は小海町高原美術館との共同開催で、松原湖に取材した高田誠の《湖畔秋色》など佐久地域を描いた風景画と、長野県にゆかりの深い作家による人物表現を中心に、近代の名品から現代美術まで多様な作品を出品した。また、小海町高原美術館からは同館所蔵の島岡達三作品を出品いただき、当館の松井康成作品とともに人間国宝による工芸作品を紹介した。</p>	<p>1966(昭和41)年の開館以来、長野県信濃美術館では郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきた。これらのコレクションをより多くの方に鑑賞してもらうため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催している。リニューアルオープンを迎えた今年度からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなった。</p> <p>今回は、日本画の大家、菱田春草や日本における洋画の先駆的存在である川上冬崖、近代彫刻のパイオニア荻原礫山ら信州出身作家の作品に加え、緑豊かな信州の自然を捉えた風景画群、そして近年新たに収集した信濃デッサン館コレクションも展示した。</p>
観覧料金	一般500(400)円、高校生以下無料、その他割引制度 ※()内は20名以上の団体料金	一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、高校生以下無料、その他割引制度 ※()内は20名以上の団体料金
主催等	(主催)小海町高原美術館 (共催)長野県、長野県立美術館 (後援)信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn、長野朝日放送、FM長野、八ヶ岳ミュージアム・リング	(主催)長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館 (共催)伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会
イベント	<p>・オープニングセレモニー 日時:令和3年9月11日(土)10:00～ ※臨時休館に伴い中止</p> <p>・講演会「近代美術のなかの『風景』」 講師:松本透(長野県立美術館館長) / 日時:令和3年9月25日(土)14:00～ / 会場:小海町高原美術館 / 参加費:無料 / 参加人数:19名</p> <p>・ギャラリートーク 講師:竹花藍子(長野県立美術館学芸員) 日時:令和3年9月18日(土) ※感染症対策のため中止</p> <p>・10月16日(土)14:00～ 会場:小海町高原美術館 / 参加費:無料・予約不要 / 参加人数:22名</p> <p>・ガイドツアー 講師:中嶋実(小海町高原美術館学芸員) / 日時:令和3年9月23日(木/祝) ※感染症対策のため中止 10月2日(土)・10月23日(土)・11月3日(祝)14:00～ / 会場:小海町高原美術館 / 参加費:無料 10月2日 7名、10月23日 9名、11月3日 23名</p>	<p>・オープニングセレモニー 日時:令和3年11月2日(火)9:00～9:30 参加人数:15人</p> <p>・ギャラリートーク① 日時:令和3年11月3日(水・祝)14:00～14:30 参加人数:15人</p> <p>・ギャラリートーク② 日時:令和3年11月13日(土)14:00～14:30 参加人数:11人</p>
入館者	1,487人(有料:1,068人 無料:419人)	1,263人(有料:963人 無料:300人)
収入額(円)	311,100	453,170
支出額(円)	1,694,720	2,262,889
差引額(円)	△ 1,383,620	△ 1,809,719
担当学芸員	霜田英子、竹花藍子、茂原奈保子	池田淳史

1 令和3年度展覧会事業実施状況

(6)交流展・移動展

	移動展2
展覧会名	2021年度長野県立美術館移動展 ～南信州ふるさとアート紀行～
日程	11月27日(土)～12月12日(日)16日間
内容	長野県立美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞していただくため、県内市町村で開催する移動展覧会。第43回を迎えた今年度は、下伊那郡下條村で展覧会を開催した。本展では、開催地を中心とした南信州のアート紀行と題して、当地の美しく、豊かな自然を描いた風景や菱田春草、須山計一、滝沢具幸など地元ゆかりの作家が描いた絵画を中心に、アートを通じて地元南信州の魅力を広く知っていただく機会とした。
観覧料金	無料
主催等	(主催) 長野県、長野県立美術館、下條村、 下條村教育委員会
イベント	・ギャラリートーク 日時: 11月27日(土)14:00～15:00 参加人数: 10人 ・講演会 日時: 11月28日(日)11:00～12:00 参加人数: 6人
入館者	287人
収入額 (円)	0
支出額 (円)	2,293,813
差引額 (円)	△ 2,293,813
担当学芸員	上沢修

II 事業運営

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(1) 企画展

企画展	企画展 1(共催展)	企画展2(共催展)
展覧会名	善光寺さんと高村光雲展 未来へつなぐ東京藝術大学の調査研究から	マン・レイと女性たち
日程	4月2日(土)から6月26日(日)(74日間)	4月21日(木)から6月19日(日)(52日間)
内容	<p>善光寺の御開帳に合わせ、高村光雲や米原雲海によって近代に建立された現在の仁王門の仏像について、様々な角度から紹介する展覧会。</p> <p>善光寺の文化財に焦点を絞り、高村光雲が教鞭を執った東京美術学校の後身で、長年にわたり善光寺の仏像の調査・修復に携わってきた東京藝術大学大学院美術研究科保存修復彫刻研究室の協力のもと、その研究成果としての仏像を展示した。</p> <p>善光寺仁王門の金剛力士像や三面大黒天像、三宝荒神像等の研究パネルと構造模型(ひな型)、高村光雲の制作日誌等の展示と合わせて、AR技術を用いた仏像の立体的な再現を行った。</p> <p>修復が単なる過去の復元ではなく、連面と続いている信仰と美術のあり方に関わる問題であることを明確にした。</p>	<p>20世紀を代表する芸術家の一人、マン・レイ。幅広いジャンルで活躍した作家は、写真でもその類稀な才能を発揮した。そんなマン・レイの写真の特徴づけるのが、独自の技法や、軽やかな撮影スタイル、そして長い生涯のなかで出会った女性たちの存在である。彼女たちはマン・レイにとっての“ミュージズ”であると同時に、激動の時代を生きる自由な人間の象徴だった。本展ではマン・レイの写真を中心に、絵画やオブジェなど250点を超える選りすぐりの作品を紹介した。</p>
観覧料金	<p>一般、大学生および75歳以上 500(400)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度</p> <p>※()内は20名以上の団体料金</p>	<p>一般1,500(1,400)円、大学生及び75歳以上1,300(1,200)円、高校生以下又は18歳未満無料</p> <p>※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般 2,000円、大学生及び75歳以上1,600円</p>
主催等	<p>[主催]長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団</p> <p>[共催]長野県教育委員会</p> <p>[特別協力]善光寺、東京芸術大学保存修復彫刻研究室</p> <p>[後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺御開帳奉賛会、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社</p>	<p>[主催]長野県、長野県立美術館[共催]長野県教育委員会[後援]在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ[監修]巖谷國土(シュルレアリスム研究、仏文学者、美術批評家、明治学院大学名誉教授)、マリオン・メイエ(20世紀美術研究、国際マン・レイ協会会長)[特別協力]国際マン・レイ協会[協力]日本航空・[企画]アートプランニング レイ</p>
イベント	<p>①記念講演会1 講師:藤曲隆哉(修復家)・小島久典(東京藝大准教授) / 日時:5月28日(土)13:30~/場所:レセプションルーム / 参加人数30人</p> <p>②「善光寺参り絵解き図」の絵解き / 講師:小林玲子(長野の絵解きを広める会 代表) / 日時:6月4日(土)13:30~/場所:レセプションルーム ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、絵解きイベントは2回中止となっている。</p> <p>③記念講演会2 講師:藪内佐斗司(奈良県立美術館長)・山田修(奈良県立大学地域創造研究センター 特任教授) / 日時:6月11日(土) / 場所:レセプションルーム / 参加人数26人</p>	<p>①担当学芸員によるギャラリートーク 日時:4月24日(日)14:00~15:00 場所:展示室2・3 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止</p> <p>②担当学芸員によるギャラリートーク 日時:6月12日(日)14:00~15:00 場所:展示室2・3 参加人数:31人</p>
入館者	21,466人(有料:14,846人 無料:6,620人)	9,429人(有料:4,544人 無料:4,885人)
収入額(円)	3,255,250	6,406,500
支出額(円)	4,352,614	17,553,988
差引額(円)	△ 1,097,364	△ 11,147,488
担当学芸員	霜田英子、古家満菜	松井正、佐々木裕貴子

II 事業運営

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(1) 企画展

企画展	企画展 3	企画展 4
展覧会名	ジブリパークとジブリ展	傅抱石・傅益瑤 父娘展 文化のかけ橋—墨絵の美の響演
日程	7月16日(土)から10月10日(月・祝)(76日間)	7月23日(土)から9月11日(日)(44日間)
内容	ジブリパークとは2022年11月1日、愛知県の「愛・地球博記念公園」に開園した、スタジオジブリの作品世界を体感できる一大テーマパークである。本展では、模型などの貴重なメイキング資料も交えてジブリパークを紹介した。特に当館の会期は開園前であったため、パークの内容を完全に先取りして展覧する貴重な機会となった。また、パーク建設の指揮を執った宮崎吾朗監督が建設に携わった三鷹の森ジブリ美術館や、『ゲド戦記』、『アーヤと魔女』等の吾朗監督作品の紹介もあり、ジブリの世界を堪能できる展示であった。	長野県とゆかりの深い現代中国画壇を代表する水墨画家・傅益瑤とその父で20世紀中国絵画の巨匠・傅抱石による初の父娘展を開催した。日本へ留学した経験のある二人は、中国伝統の水墨技法を軸に日本で学んだ東洋の美術史や美学論を創作の背景に位置づけ、伝統に基づきながらも時代を超えた革新的な水墨表現を展開し、中国画壇に確たる地位を築いた。本展では日本留学時代前後の戦前作品にくわえ、帰国後、新たに創始した「抱石皴」といわれる画法を駆使して描いた傅抱石の水墨山水と、来日40年におよぶ水墨表現の研鑽により生み出された傅益瑤の筆による日本の祭りや寺院障壁画、芭蕉や一茶の俳句から創意した詩意画などの近作を中心に、日本と中国の画壇を共有し、新たな地平を切り開いた二人の優品をご紹介します、多くの方々にご覧いただいた。
観覧料金	一般1,500円、中高生1,000円、小学生700円、未就学児無料	一般500(400)円、大学生及び75歳以上300(200)円、高校生以下又は18歳未満無料、その他割引制度 ※東山魁夷館との共通料金 一般800円、大学生及び75歳以上400円
主催等	[主催]長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、テレビ信州 [共催]長野県教育委員会 [後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、FM長野 [協賛]大日本印刷 [企画制作協力]スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、ジブリパーク	[主催]長野県、長野県立美術館 [共催]長野県教育委員会 [後援]一般社団法人全国旅行業協会、長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ [協力]常楽寺美術館
イベント	障がいのある方のための特別鑑賞日 9月7日(水)10:00~17:00 参加人数 245名	講演会 講師:傅益瑤(水墨画家、本展出品作家) 日時:8月20日(土)13:30~15:00 場所:本館B1Fホール/参加人数:53人
入館者	188,924名(有料:157,955名 無料:30,969名)	5,996人(有料:3,272人 無料:2,724人)
収入額(円)	80,451,047	1,252,200
支出額(円)	41,861,928	7,412,571
差引額(円)	38,589,119	△ 6,160,371
担当学芸員	池田淳史、木内真由美	上沢修、佐々木裕貴子

II 事業運営

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(1) 企画展

企画展	企画展 5	企画展 6
展覧会名	戸谷成雄 彫刻	発見された日本の風景
日程	11月4日(金)から令和5年1月29日(日)(69日間)	2月11日(土)から令和5年4月9日(日)(50日間)
内容	戸谷成雄(1947-)は、日本の現代彫刻を代表する存在として、「彫刻とはなにか」を問う根源的な思索を深めながら、今なお精力的に作品を発表している。出身地である長野県での初めての個展となる本展では、「表面」や「構造」といった戸谷独自の彫刻概念に、日本語の言語構造への深い思索が反映されていることに焦点を当てた。この思索は、戸谷自身の言葉にしばしば表明されてきたものの、作品を目の前に語られる機会はあまり多くなかった。代表作の「森」シリーズや初期の人体彫刻、貴重なインスタレーション作品まで約30点を制作年に関係なく展示し、いわゆる制度として解体された彫刻を、時代や地域の枠を乗り越え、その起源から見つめ直す戸谷の一貫した取り組みを提示した。	日本が近代化を図る激動の「明治」。西洋諸国の制度や価値観と向き合い、世界を強く意識する時代の波は、美術の世界にも押し寄せた。日本を訪れた外国人画家たちは、西洋とは異なる日本の文化や風俗に興味を抱き、その様子を描き、国内では水彩画が流行し、日本人画家たちも旅し、各地の風景や暮らしを描き留めたのである。本展は、コレクターの高野光正氏が海外で収集した200点を超える水彩画や油彩画によって、当時の国内外の画家たちが発見したかつての日本の姿を紹介するものであった。これらの中には、日本に水彩画を広めた3人のイギリス人画家アルフレッド・イースト、ジョン・ヴァーレー・ジュニア、アルフレッド・パーソンズをはじめ、現在の東御市津津で生まれた丸山晚霞の描いた水彩画も含まれている。描かれた風景や風俗を通して、明治の日本を旅するような展示として企画された本展は、京都国立近代美術館、府中市美術館、愛媛県立美術館を巡回した。
観覧料金	一般 1,200(1,100)円 大学生及び75歳以上 1,000(900)円、高校生以下又は18歳未満 無料 ※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般 1,700円、大学生及び75歳以上 1,300円	一般 1,200(1,100)円 大学生及び75歳以上 1,000(900)円、高校生以下又は18歳未満 無料 ※東山魁夷館及び長野県立美術館コレクション展との共通料金 一般 1,700円、大学生及び75歳以上 1,300円
主催等	[主催]長野県、長野県立美術館、戸谷成雄展実行委員会 [共催]長野県教育委員会 [協力]ShugoArts、ケンジタキギャラリー [後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ	[主催]長野県、長野県立美術館、京都国立近代美術館 [共催]長野県教育委員会 [後援]長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ
イベント	①アーティストトーク 講師：戸谷成雄、北澤智豊(武蔵野美術大学) 日時：11月4日(金)10:30～12:00 場所：展示室1・2・3 参加人数：27人 ②担当学芸員によるギャラリートーク 日時：11月26日(土)14:00～15:00 場所：展示室1・2・3 参加人数：18人 日時：12月24日(土)14:00～15:00 場所：展示室1・2・3 参加人数：15人	① 記念講演会「高野コレクションについて——その成り立ちと展開」／講師：田中正史(独立行政法人国立美術館本部 国立アトリサーチセンター(仮称)設置準備室 主任研究員 長野県立美術館 前学芸課長)／日時：2月11日(土)13:30～15:00／場所：レセプションルーム／参加人数：26人 ② 記念講演会「明治の風景を外へ見せる／外から見る一画家別に整理してみる」／講師：梶岡秀一(京都国立近代美術館 主任研究員・本展企画者)／日時：3月12日(日)13:30～15:30／場所：レセプションルーム／参加人数：23人 ③ 担当学芸員によるギャラリートーク／日時：2月25日(土)14:00～15:00／場所：展示室1・2・3／参加人数：16人 ／日時：3月21日(火・祝)14:00～15:00／場所：展示室1・2・3／参加人数：35人 ④ 「全盲の美術鑑賞者」とアートなトーク／日時：3月5日(日)13:30～15:30／場所：展示室1・2・3／参加人数：9人
入館者	8,036人(有料:4,687人 無料:3,349人)	6,206人(有料:4,113人 無料:2,093人)
収入額(円)	4,173,700	3,631,500
支出額(円)	17,771,790	7,636,303
差引額(円)	△ 13,598,090	△ 4,004,803
担当学芸員	鈴木幸野、池田淳史	木内真由美、古家満葉

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(2)NAMコレクション展

区分	I 期	II 期	III 期
会期	3月17日(木)から5月17日(火)(54日間)	5月19日(木)から7月19日(火)(54日間)	9月15日(木)から11月8日(火)(48日間)
内容	<p>今年度から名称を新たに「NAMコレクション展」として、信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成されたコレクションから、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの作品を展示した。</p> <p>第I期は、藤島武二や金山平三、伊東深水ら画壇の大家による、春の信州を描いた風景画が一堂に会した。また信州に留まらず、5人の洋画家たちによるヨーロッパの風景画も展示し、コロナ禍で海外に行けない状況が続く中、来館者にささやかな旅行気分を提供した。</p>	<p>菱田春草、萩原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館(NAM)コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。</p> <p>第II期は、春から夏への移り変わりに合わせて、緑に満ち溢れた信州の風景や、清涼感が漂う水景を描いた作品群が並んだ。また前期に引き続き、洋画家たちによるヨーロッパの風景画を一部入れ替えて展示、異国の空気を感じられる構成とした。</p> <p>加えて本年は、延期されていた善光寺御開帳が開催されることから、御開帳記念として、菱田春草や長谷川青澄による仏教をモチーフとした日本画の特集を行った。</p>	<p>菱田春草、萩原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館(NAM)コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。</p> <p>第III期は、夏から秋への移り変わりに合わせて、人々の秋の営みや美しい信州の秋景を描いた作品群が並んだ。また前期に引き続き、幅広い分野で活躍した池田満寿夫による版画作品と現代作家たちの仕事を紹介した。</p> <p>加えて特集展示では、坂城町出身で人間国宝となった故・宮入行平の《太刀》をはじめ当館所蔵の刀剣3点など、長野県にゆかりの深い刀剣の特集を行った。</p>
イベント	<p>ギャラリートーク 4月16日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で中止</p>	<p>ギャラリートーク 6月18日(土)14:00～14:30/参加人数:7人</p>	<p>①ギャラリートーク 10月15日(土)14:00～14:30/参加人数:8人 ②NAMコレクション展第III期関連イベント 「日本刀の美」第I部スクリーニング&トーク 日時:11月6日(日) 13:30～16:00 参加人数:25人 ③NAMコレクション展第III期関連イベント 「日本刀の美」第II部ライブパフォーマンス 11月6日(日)16:10～16:25/参加人数:48人</p>
入館者	19,950人(有料:15,659人 無料:4,291人)	28,218人(有料:23,690人 無料:4,528人)	17,035人(有料:13,231人 無料:3,804人)
収入額 (円)	21,863,830 (年間)		
支出額 (円)	7,155,810 (年間)		
差引額 (円)	14,708,020 (年間)		
担当学芸員	池田淳史	松井正	松井正

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(2)NAMコレクション展

区分	Ⅳ期	Ⅴ期
会期	11月10日(木)から令和5年1月17日(火)(54日間)	令和5年1月19日(木)から3月14日(火)(48日間)
内容	<p>菱田春草、荻原礪山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館(NAM)コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。</p> <p>第Ⅳ期は、秋から冬への移り変わりに合わせて、人々の冬の営みや美しい信州の冬景を描いた作品群が並んだ。また前期に引き続き、幅広い分野で活躍した池田満寿夫による版画作品と現代作家たちの仕事を紹介。さらに特集展示では、女性をテーマに日本画、洋画、彫刻から長野県立美術館の優品を紹介した。</p>	<p>菱田春草、荻原礪山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館(NAM)コレクション。NAMコレクション展では、1年をかけて、洋画、日本画、工芸等あらゆるジャンルの収蔵品を展示している。</p> <p>第Ⅴ期は「信濃デッサン館コレクション」の特集展示を行った。本コレクションは2018年から翌年にかけて、上田市の信濃デッサン館(現 KAITA EPITAPH 残照館)より新たに収蔵したもので、村山槐多、関根正二、野田英夫ら天折画家の作品を中心とした、絵画、素描、彫刻390点から構成されている。本特集では企画展や定期イベント等信濃デッサン館の活動に関するアーカイブ資料とともに、コレクションから選りすぐりの約110点を紹介した</p>
イベント	<p>ギャラリートーク 12月17日(土)14:00~14:30/参加人数:6人</p>	<p>①ギャラリートーク 1月28日(土)※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止 2月18日(土)14:00~14:30/参加人数:25人 ②記念対談/講師:原田光(前・岩手県立美術館館長)、松本透(当館館長)/2月26日(日)/会場:レセプションルーム※都合により中止 ③講演会/講師:窪島誠一郎(KAITA EPITAPH 残照館、戦没画学生慰霊美術館「無言館」館主)/3月11日(土)14:00~15:30/会場:ホール/参加人数:65人</p>
入館者	11,553人(有料: 9,001人 無料: 2,552人)	8,199人(有料:6,498人 無料:1,701人)
収入額(円)	—	—
支出額(円)	—	—
差引額(円)	—	—
担当学芸員	松井正	池田淳史、古家満菜

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(3) 東山魁夷館

区分	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期	VI 期
会期	4月14日(木)から6月7日(火)(48日間)	6月9日(木)から8月2日(火)(48日間)	8月4日(木)から10月4日(火)(54日間)	10月6日(木)から12月6日(火)(54日間)	12月8日(木)から令和5年2月7日(火)(48日間)	令和5年2月9日(木)から4月11日(火)(54日間)
内容	「白い馬の見える風景」の代表作《緑響く》と《水辺の朝》、春の訪れを青と緑で美しく表現した《春兆》や《沼》、ドイツ・オーストリア旅行で心惹かれた《石の窓》などを中心に紹介した。	魁夷畢生の大作「唐招提寺御影堂障壁画」の制作過程で生まれた《夕静寂》をはじめ、水墨表現に挑むなかで制作された《瀧江暮色》や《桂林月夜》、《黄山雨過》など、モノクロームの世界を描いた作品をメインにご覧いただいた。	人気シリーズ「白い馬の見える風景」の連作から《白馬の森》とその習作群をはじめ、飯山市の希望湖を描いた《静映》や《沼の静寂》、《緑の窓》など、緑萌える夏の爽やかな風景を描いた作品を展示した。	初秋の志賀高原を描いた《山谿秋色》や落葉する楓を黄金色で鮮やかに描いた《行く秋》、秋色に染まる自然を象徴的に描いた《紅翳》、《秋思》などの秀作をご覧いただいた。	「東山の青」を代表する《静唱》や絶作《夕星》をはじめ、紅葉する樹々を幻想的に表現した《夕紅》や《木枯らし舞う》など、東山晩年の心象風景を描いた力作を展示した。	冬の信州の自然をあたたかな眼差しで描いた《静晨》や《霧氷の譜》、《冬の旅》を中心に、東山が深く心を寄せた北欧の古い街並みを描いた《窓》や《倉庫》などを展示した。
イベント	ギャラリートーク 5/21(土)※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で中止	ギャラリートーク 7月16日(土)14:00～14:30/参加人数:32人	ギャラリートーク 9月17日(土)14:00～14:30/参加人数:25人	ギャラリートーク 11月19日(土)14:00～14:30/参加人数:8人	ギャラリートーク 1月21日(土)14:00～14:30/参加人数:31人	ギャラリートーク 3月18日(土)14:00～14:30/参加人数:10人
入館者	25,278人(有料:20,863人 無料:4,415人)	19,122人(有料:15,603人 無料:3,519人)	17,514人(有料:13,542人 無料:3,972人)	17,854人(有料:13,999人 無料:3,855人)	7,021人(有料:5,526人 無料:1,495人)	10,657人(有料:8,409人 無料:2,248人)
収入額(円)	25,031,370					
支出額(円)	2,182,879					
差引額(円)	22,848,491					
担当学芸員	上沢修	松浦千栄子	松浦千栄子	松浦千栄子	松浦千栄子	松浦千栄子

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(4)オープンギャラリー

展覧会名	公開制作vol.2 佐藤朋子 狐・鶴・馬	NAMアーカイブ&リサーチ2022 信州の生活と版画—上野誠が見つめた戦後
日程	5月28日(土)から9月11日(日)(93日間)	10月27日(木)から令和5年2月14日(火)(90日間)
内容	<p>公開制作は、アーティストが一定期間美術館に通い作品を制作する様子を公開し、完成した作品の展示を行う企画である。</p> <p>本年度は講義形式のパフォーマンス(レクチャーパフォーマンス)を主体に「語り」による芸術実践を行う佐藤朋子(1991-、長野市出身・神奈川県拠点)を招聘した。佐藤は約3か月半にわたる会期のあいだ美術館近隣に拠点をもち、別のプロジェクトのために不在とする期間を除いてほぼ毎日美術館に通った。</p> <p>制作期間中、会場には過去の作品資料を紹介する「資料室」とアーティストが制作を行う「スタジオ」を設置。また、スタジオほか館内各所にて対話を主としたイベントを複数回実施し、アーティストと来館者が相互に関わりながら制作を進める形式をとった。</p> <p>完成した作品は会期後半に上演イベントで発表したうえで、映像インスタレーションとして展示も行った。これにより、上演日時が限られるパフォーマンス形式の作品をより多くの来館者が鑑賞することを可能とした。</p> <p>さらに、関連イベントとしてアーティストが取り組むプロジェクトにまつわるワークショップを開催し、来館者が佐藤の作品や活動について、広く深く知ることのできる機会となることを目指した。</p>	<p>NAMアーカイブ&リサーチは、県内で行われた芸術活動や所縁ある作家を紹介するものとして、今年度より不定期に開催する企画である。第一回となる本年は、「信州の生活と版画—上野誠が見つめた戦後」と題して、長野県内で戦前から戦後にかけて繰り返し広がられた、版画によって自身の生活をとりまくものを彫り出そうとする活動の概略を辿った。また、戦後の生活版画において主導的役割を果たした川中島出身の版画家・上野誠が見つめた戦後の様相を小特集として紹介し、展示の様子とともに小冊子に作品画像・年譜などを掲載した。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	主催 長野県、長野県立美術館	主催 長野県、長野県立美術館
イベント	<p>①オープントーク/ファシリテーター: 馬場智一、出演: 佐藤朋子 日時: 7月2日(土)10:00~11:30/場所: オープンギャラリー/ 参加人数: 10人 日時: 7月18日(月・祝)10:00~11:30/場所: オープンギャラリー/ 参加人数: 7人 日時: 7月30日(土)10:00~11:30/場所: レセプションルーム/ 参加人数: 8人 日時: 8月21日(日)10:00~12:00/場所: 交流スペース/参加人数: 12人</p> <p>②アーティストトーク「なぜ今、語り・物語・歌なのか」 講師: 姜信子、佐藤朋子/日時: 7月31日(日)14:00~15:30 場所: 交流スペース/参加人数: 20人</p> <p>③レクチャーパフォーマンス試演会 出演: 佐藤朋子/日時: 8月3日(水)17:00~18:30 場所: 橋倉家住宅(松本市旭2-10-1)/参加人数: 12人 開催協力: 信州大学人文学部芸術・哲学論コース、松本市</p> <p>④レクチャーパフォーマンス上演 出演: 佐藤朋子/日時: 8月14日(日)11:00~12:00、15:00~16:00 場所: 交流スペース/参加人数: 11:00~ 8人、15:00~ 23人</p> <p>⑤ワークショップ「よむ、とる、つなぐ」往復朗読ワークショップ ことばと声で遊ぼう! 講師: 青柳菜摘、佐藤朋子/日時: 12月3日(土)10:00~15:00 場所: レセプションルーム/参加人数: 9人/企画開発: 東京藝術大学大学院映像研究科 RAM Association/開催協力: コ本や honkbooks</p>	
入館者	13,974人	9,174人
図録	インスタレーションビュー(記録写真)・制作ノート・関連イベント1~3・レクチャーパフォーマンス(記録写真)・上演台本	
収入額(円)	0	
支出額(円)	5,928,407	
差引額(円)	△ 5,928,407	
担当学芸員	茂原奈保子、山下樹里	古家満葉

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(5) アートラボ

展覧会名	アートラボ2022第Ⅰ期 西村陽平展 彫刻を見るととき、耳を澄ます	アートラボ2022第Ⅱ期 金箱淳一展 たゆたう音とあそぶ
日程	3月11日(金)から7月26日(火) (119日間) 会期を変更	7月30日(土)から10月25日(火) (77日間)
内容	2022年度の第Ⅰ期展覧会では、西村陽平を紹介した。 西村は、「見えていても、触らなければわからないもの」を主題とし、身近にあったものに、焼成という陶芸のプロセスを加えることで、形を変え、素材の違いを際立たせる作品を制作した。視覚ではわからなかった作品の温度や質感、素材の新しい肌触りを体験する機会を提供した。 ※本展覧会は「アートラボ2021第Ⅱ期 西村陽平展 彫刻を見るととき、耳を澄ます」の会期を延長して開催したものである。	2022年度の第Ⅱ期展覧会では、金箱淳一を紹介した。 「楽器インターフェース」の研究者でもある金箱は、視覚や聴覚に障がいのある人もそうでない人も、一緒に遊ぶ／感じるができるよう、音や光を振動に変えて伝える「共遊楽器」の開発をおこなっている。聴覚だけでなく、それ以外のさまざまな感覚を使った鑑賞を来場者へ提供した。
観覧料金	無料	無料
主催等	長野県、長野県立美術館	長野県、長野県立美術館
イベント		
入館者	4,187人 (4月1日から7月26日)	5,457人
収入額 (円)	0 (年間)	
支出額 (円)	2,642,105 (年間)	
差引額 (円)	△ 2,642,105 (年間)	
担当学芸員	青山由貴枝	青山由貴枝

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(5) アートラボ

展覧会名	アートラボ2022第Ⅲ期 荒木優光 ダンスしないか？	アートラボ2022第Ⅳ期 ひらくツール ふれる はなす あるく 齋藤名穂×長野県立美術館
日程	11月3日(木・祝)から令和5年1月29日(日)(70日間)	2月4日(土)から5月9日(火) (83日間)
内容	2022年度の第Ⅲ期では、荒木優光を紹介した。 「聴くこと」を軸に音にまつわる作品を制作する荒木は、長野県内でのリサーチを通じて人や物の関係が循環する様子を描いたインスタレーション作品を発表した。視覚でとらえる情報と聴覚でとらえる情報とが相互に補完し合う構造をとっており、鑑賞者が両感覚を行き来しながら作品を観ることで、より深い鑑賞体験となることを目指した。	2022年度の第Ⅳ期展覧会では、2021年のリニューアルの際に制作された「ひらくツール」と、そのデザインを担当したデザイナー齋藤名穂を紹介した。 「障がいのある方とない方が一緒に鑑賞するため」のデザインを研究・制作している齋藤は、「ふれる小さな長野県立美術館」や「たてもものキューブ」、「ふれるアートカード」など、視覚以外のさまざまな感覚をつかって、楽しむためのツールを開発。触れて、見て、感じて、自分の感覚を再発見し、だれかと共有する鑑賞の楽しさを来場者へ提供した。
観覧料金	無料	無料
主催等	長野県、長野県立美術館	長野県、長野県立美術館
イベント	荒木優光対話集 オープン・ザ・ドア 公開収録 & 配信 in 長野「馬上の空論」 ホスト: 荒木優光、ゲスト: 加納俊輔、小林耕平、茂原奈保子 日時: 1月8日(日)12:30~16:30 場所: 交流スペース、オンライン同時配信 参加人数: 実地 37人、オンライン 15人	
入館者	4,306人	2,987人 (2月4日から5月9日まで)
収入額(円)	—	
支出額(円)	—	
差引額(円)	—	
担当学芸員	茂原奈保子	青山由貴枝

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(6) 交流展・移動展

	交流展	移動展1
展覧会名	佐久からひろがる 信州の近現代美術	2022年度長野県立美術館移動展in伊那文 ～県美コレクション展が今年もやってくる～
日程	7月16日(土)から8月28日(日)(38日間)	11月19日(土)から12月18日(日)(26日間)
内容	<p>交流展は、県内各地域の美術館とともに企画・立案し実施する展覧会である。当館のコレクションをより多くの方に公開すること、県内地域の中核となる美術館と共催することで美術館や学芸員どうしの相互連携を深めることを目的としている。また、展覧会では共催館の特色を打ち出し、地縁ある作家たちの作品を中心に展示することで、地域の魅力を再発見する機会としてもらうことを目指している。</p> <p>本年度は佐久市立近代美術館との共同開催で、岡村政子、神津港人、川村吾蔵の三作家を起点に佐久地域を中心とした近現代美術の展開を概観した。また、両館のコレクションに加えて佐久市川村吾蔵記念館からも彫刻作品をご出品いただいたことで、当館のコレクションのみならず佐久地域の美術を広く紹介する機会となった。</p>	<p>長野県立美術館では、1966(昭和41)年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集・公開してきた。これらコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催している。長野県立美術館として新たに出発した昨年からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなった。本年も県立美術館NAMコレクション展第Ⅲ期の内容をそのまま展示するラインナップで、県立美術館の「顔」となる43点が並ぶ盛りだくさんの内容。菱田春草や池上秀畝、中村不折、滝沢具幸など南信ゆかりの作家は勿論のこと、紅葉に彩られた信州の美しい自然を捉えた風景画、そして、刀剣を携える人物を描いた歴史画や鋼の芸術日本刀など、多彩で精神性豊かな日本美術の逸品を展示した。</p>
観覧料金	一般600(500)円、学生410(310)円、高校生以下又は18歳未満無料 ※()内は20名以上の団体料金	一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、高校生以下又は18歳未満無料
主催等	<p>[主催]佐久市、佐久市教育委員会 [共催]長野県、長野県立美術館 [後援]信濃毎日新聞社、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平、佐久市民新聞、美術年鑑社、佐久市立近代美術館友の会</p>	<p>[主催]長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館 [共催]伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会</p>
イベント	<p>①講演会「日本人作家の海外体験・活動—その今昔」 講師：松本透(長野県立美術館長) 日時：7月17日(日)14:00～15:30 場所：佐久市立近代美術館／参加人数：28人</p> <p>②対話型鑑賞「アートをししゃべって見ませんか？」 講師：青山由貴枝、山下樹里、柄澤初音(当館学芸員) 日時：7月24日(土) 10:00～11:30、13:00～14:30 場所：佐久市立近代美術館 展示室 参加人数：10:00～ 4人、13:00～ 3人</p> <p>③ギャラリートーク 日時：7月30日(土)14:00～15:00 ／講師：木内真由美(当館学芸員) 場所：佐久市立近代美術館／参加人数：4人 日時：8月20日(土)14:00～15:00／講師：茂原奈保子(当館学芸員) 場所：佐久市立近代美術館／参加人数：5人</p> <p>④ガイドツアー 講師：土屋信(佐久市立近代美術館学芸員) ／日時：8月13日(土)14:00～ 会場：佐久市立近代美術館／参加人数：3人</p>	<p>ギャラリートーク 講師：上沢修(当館学芸員) 場所：長野県伊那文化会館 美術展示ホール 日時：11月19日(土)14:00～15:00 ／参加人数：22人 12月3日(土)14:00～15:10 ／参加人数：28人 12月17日(土)14:00～15:15 ／参加人数：18人</p>
入館者	1084名(有料:665人 無料:419人)	857人(有料:623人 無料:234人)
収入額(円)	196,900	291,300
支出額(円)	3,893,483	2,607,657
差引額(円)	△ 3,696,583	△ 2,316,357
担当学芸員	茂原奈保子、木内真由美	上沢修

1 令和4年度展覧会事業実施状況

(6) 交流展・移動展

	移動展2
展覧会名	2022年度長野県立美術館移動展 松川村でたどる信州のアート
日程	令和5年2月18日(土)から3月5日(日)(16日間)
内容	長野県立美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞していただくため、県内市町村で開催する移動展覧会。今年度は、北安曇郡松川村で展覧会を開催した。松川村は、雄大な北アルプス連峰を源流とする一級河川が複数流れ込む自然豊かな地であり、北安曇地方特有の歴史と文化に彩られている。本展では、そのような松川村の特徴に沿い、長野県立美術館のコレクションを紹介した。第1章では、りんごをはじめとした、松川村の歴史と関係する農産物などのイメージ、第2章では、松川村の民話に語り継がれてきた有明山と浅間山を描いた近代以降のイメージと北アルプスの多様な描かれ方、第3章では、松川村と戸隠・善光寺との意外なつながりを追った。
観覧料金	無料
主催等	[主催]長野県、長野県立美術館、松川村、松川村教育委員会 [後援]信濃毎日新聞社、大系タイムス、市民タイムス、MG プレス
イベント	ギャラリートーク 講師:鈴木幸野(当館学芸員) 日時:2月18日(土)14:00~15:00 場所:松川村多目的交流センター すずの音ホール 参加人数:20人
入館者	入館者数 780人
収入額 (円)	0
支出額 (円)	1,783,884
差引額 (円)	△ 1,783,884
担当学芸員	鈴木幸野

Ⅱ 事業運営

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(1) 企画展

企画展	企画展 1(共催展)	企画展2(共催展)
展覧会名	超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA	信濃毎日新聞社創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃～小布施・諏訪・松本～
日程	4月22日(土)～6月18日(日) 開催日数:51日間	023年7月1日(土)～8月27日(日) 開催日数:48日
内容	超絶技巧を駆使した明治工芸再評価の機運が、近年益々高まっている。本展では、近代の名工の作品に加え、そのDNAを受け継ぐ、技術とセンスを合わせ持つ現代作家の新作を中心に紹介。陶芸、木彫、金工、切り絵、ガラス、ペーパークラフトなど、様々な技法から生み出された、未来へとつながる超絶技巧の世界に迫る。	日本を代表する絵師・葛飾北斎は、印象派に強い影響を与えたこともあって、世界に知られる巨匠です。この北斎が信濃と深い関わりを持つ画家であることはあまり知られていません。そこで、本展では、北斎に縁のある信濃の地、小布施・諏訪・松本の3つの地域と北斎の関わりに焦点を当てながら、北斎画業の全貌を紹介しつつ、北斎にとっての信濃とは何であったのかを探っていきます。
観覧料金	一般1,400円、大学生1,200円、高校生以下又は18歳以下無料	一般1,600(1,500)円、中高生800(700)円、小学生以下無料
	コレクション展との共通料金:一般1,900円、大学生1,500円、前売り券:一般1,200円	コレクション展との共通料金:一般2,100円、大学生及び75歳以上1,900円、前売り券:一般1,400円、前売特割2枚セット券:一般2,600円
主催等	主催:長野県、長野県立美術館、SBC信越放送 共催:長野県教育委員会、信濃毎日新聞社 協力:清水三年坂美術館 監修:山下裕二(明治学院大学教授) 後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本長野支社 企画協力:広瀬麻美(浅野研究所)	主催:長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、(公財)信毎文化事業財団 共催:長野県教育委員会、信越放送 特別協力:北斎館、すみだ北斎美術館、日本浮世絵博物館、諏訪市博物館、岩松院、NTT ArtTechnology、アルステクネ 監修:安村敏信(北斎館館長) 後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、NHK長野放送局
イベント	①記念講演会「超絶技巧の未来」 講師:山下裕二 日時:5月13日(土)13:30～15:00 会場:本館3階レセプションルーム 参加人数:42人 ②作家講演会 講師:大竹亮峯(木彫作家・本展出品作家) 日時:5月27日(土)13:30～15:00 会場:本館3階レセプションルーム 参加人数:36人 ③ワークショップ 講師:蝸牛あや(刺繍作家・本展出品作家) 日時:6月4日(日)13:30～16:00 会場:本館3階レセプションルーム 参加人数:10人	・記念講演会 講師:安村敏信氏(北斎館館長、本展監修者) 日時:7月29日(土)13:30分～15:00 会場:本館B1Fホール 参加人数:63人
入館者	入館者数:33,556人	入館者数:37,565人(達成率75.13%)
	目標入館者数:30,000人	目標入館者数:50,000人
予算(支出)	支出 30,314,182円	予算 53,640,000円
担当学芸員	霜田英子・佐々木裕貴子	上沢修・茂原奈保子・佐々木裕貴子

Ⅱ 事業運営

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(1) 企画展

企画展	企画展 3	企画展 4
展覧会名	とびたつとき —池田満寿夫とデモクラートの作家	庵野秀明展
日程	2023年9月9日(土)～11月5日(日)開催日数:50日	2023年11月25日(土)～2024年2月18日(日)
内容	マルチタレント・アーティストとして一世を風靡した池田満寿夫が1997年に亡くなって四半世紀が経ちました。彼の版画作品がどれほどまでに世界で評価され、また彼が芸術家としての道をいかに情熱的に歩んだか、今日あらためて問いかけることには大きな意味があると思われる。本展では、1950年代から1966年頃までの池田満寿夫の作品を軸に、池田が交流し影響を受けたデモクラート美術家協会の作家たちの作品により、当時世界を席卷した日本の版画をふりかえり、その意義を再考します。	総監督を務めた『シン・エヴァンゲリオン劇場版』が興行収入100億円を超える大ヒットとなった庵野秀明。本展は、アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫る。庵野秀明の原点となった「アニメ」「特撮」作品の貴重な原画やミニチュアなどをはじめ、アマチュア時代から現在までの直筆の膨大なメモやイラスト、独自の映像作りに欠かせない脚本、設定、イメージスケッチ、画コンテ、レイアウト、原画からミニチュアセットに至るまで多彩な制作資料を余すところなく紹介する。
観覧料金	一般 800(700)円、大学生及び75歳以上 600(500)円、高校生以下又は18歳未満 無料	一般1,700(1,600)円、大学生・高校生1,400(1,300)円、中学生以下無料
	コレクション展との共通料金:一般 1,300円、大学生及び75歳以上 900円	前売券:一般1,500円、大学生・高校生1,200円
主催等	主催:長野県、長野県立美術館 共催:長野県教育委員会 後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ	主催:長野県、長野県立美術館、テレビ信州 共催:長野県教育委員会 企画:庵野秀明展実行委員会 企画協力:カラー、グラウンドワークス、アニメ特撮アーカイブ機構 協賛:DNP大日本印刷 後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社
イベント	①講演会「版画との出会い—池田満寿夫さんの思い出」 講師:山本容子(銅版画家) 日時:9月10日(日)14:00～15:30 会場:本館B1Fホール ②対談「同級生が語る満寿夫像」 講師:荒井一章(不忍画廊会長、長野高校OB) 木内真由美(長野県伊那文化会館学芸主幹) 日時:9月30日(土)13:30～15:00 会場:本館3階レセプションルーム ③おとなアートラボ 講師:青山由紀恵(長野県立美術館学芸員) 日時:10月9日(月・祝)13:30～16:30 会場:本館3階レセプションルーム	
入館者	目標入館者数:7,000人	目標入館者数:50,000人
予算(支出)	予算 11,210,000円	予算 65,048,000円
担当学芸員	池田淳史・堀千晶	松井正・堀千晶

II 事業運営

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(1) 企画展

企画展	企画展 5
展覧会名	春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助
日程	2024年3月16日(土)～5月12日(日) 開催日数:50日間
内容	春陽会は1923年に、再興院展洋画部から脱退した小杉未醒、山本鼎、森田恒友らと、草土社の岸田劉生らを中心としたメンバーにより、洋画界を代表する第3の団体として設立されました。形式に左右されず、画家の志向を尊重する自由さと、油彩だけではなく、素描、挿画、版画といった多様なジャンルの展示を特徴としており、他団体とは異なる展開を遂げてきました。本展では、創立からの春陽会展出品作を中心とした約100展をご紹介します。
観覧料金	一般800(700)円、大学生及び75歳以上600(500)円、高校生以下または18歳未満無料
主催等	主催:長野県、長野県立美術館 共催:長野県教育委員会、一般社団法人 春陽会、日本経済新聞社 特別協力:東京国立近代美術館 後援:長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社
イベント	・記念対談等、開催予定
入館者	目標入館者数:6,000人
予算(支出)	予算 15,482,000円
担当学芸員	鈴木幸野・古家満葉

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(2)NAMコレクション展

区分	I 期	新収蔵品展	II 期	III 期
会期	2023年3月16日～5月16日 55日間《2023年度41日間》	2023年4月22日～6月18日 53日間	2023年5月18日～7月25日 54日間	2023年7月27日～9月19日 54日間
内容	冬から春への移り変わりにあわせて、美しい信州の春を描いた絵画をはじめ春をテーマにした作品群が並びます。また特集展示として、企画展「発見された日本の風景」(2月11日～4月9日)にあわせて収蔵品から優作をご紹介します。明治～昭和期に活躍した丸山晚霞の水彩画のほか、近代登山の普及に伴って描かれた山岳画などをご覧いただけます。信州に根付く芸術の魅力を味わってください。	長野県立美術館では、前身の旧・長野県信濃美術館から、長野県ゆかりの作家や文化を顕彰する活動の一環として、すぐれた作品の収集に努めてきました。このたび、戦後美術を中心とした新収蔵作品13点をご紹介します。 出品作家 大森運夫・小嶋悠司・小松美羽・杉山寧・滝沢具幸・辰野登恵子・土谷武・戸谷成雄・野見山暁治・毛利武彦・渡辺学	信州高遠で青年期を過ごし、今年で没後80年を迎える中村不折や、上田市出身の林倭衛など明治から昭和にかけて西洋に渡り学んだ美術家たちの作品を紹介します。 また、同時期に開催される企画展「超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA」(~6/18)、「葛飾北斎と3つの信濃—小布施・諏訪・松本—」(7/1～8/27)にちなんで、絵師・彫師・摺師の分業体制で制作される「新版画」を特集します。	同時期開催される企画展にちなみ、「とびたつき—池田満寿夫とデモクラートの作家」(9/9～11/5)にて取り上げられる1966年以降の池田満寿夫の軌跡を、「日本回帰」として陶芸制作を始めるころまでに焦点をあてて紹介します。同様に西洋美術に影響を受けながらも、時代の流れの中で日本に想いを巡らした美術家たちの作品も見逃せません。あわせて、今年で生誕150年を迎える、松本出身の西郷孤月や、「葛飾北斎と3つの信濃—小布施・諏訪・松本」(7/1～8/27)に関連する作品も出品します。
イベント	ギャラリートーク 4/15(土)14:00～13名		ギャラリートーク 6/17(土)14:00～15名	ギャラリートーク 8/19(土)14:00～5名
入館者	17,048人 (有料12,518人、無料:4,530人)	I 期とII 期に含まれる	23,181人 (有料15,436人、無料:7,745人)	19,020人 (有料13,930人、無料:5,090人)
予算	予算 7,310,000円 (年間)			
担当学芸員	松浦千栄子・松井正	鈴木幸野	古家満葉	鈴木幸野

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(2)NAMコレクション展

区分	Ⅳ期	Ⅴ期	Ⅵ期
会期	2023年9月21日～11月28日 60日間	2023年11月30日～2024年2月13日 60日間	2024年2月15日～4月23日 60日間
内容	<p>長野県立美術館コレクション展の新たな試みとして、新しい作品の見方(鑑賞)を来館者に提案します。</p> <p>コレクション作品から、モチーフや部分が○△□(丸・三角・四角)に見える、もしくは連想される作品を特集します。記号や見え方をテーマに作品を紹介することで、近代から現代までのコレクションの多様性を提示するとともに、抽象作品だけでなく、風景画やさまざまな技法により表現された作品を展示することで、来館者に自由で新しい鑑賞体験を提案します。</p>	<p>同時期に開催される庵野秀明展(11/25～2024.2/18)にちなみ、「消滅」や「滅亡」をテーマとした絵画作品や、コンセプチュアル・アートの先駆者である松澤宥の寄託作品を展示予定です。</p>	<p>同時期に開催される春陽会展(3/16～5/12)にちなみ、春陽会員であった当館所蔵の長野ゆかりの春陽会員作品を展示予定です。あわせて、当館を代表する現代美術作品の数々をご紹介予定です。</p>
イベント	ギャラリートーク 10/21(土)14:00～	ギャラリートーク 12/16(土)14:00～	ギャラリートーク 2024年 2/17(土)14:00～
入館者			
予算	—		
担当学芸員	青山由貴枝	古家満葉	茂原奈保子

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(3) 東山魁夷館

区分	I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期
会期	2023年4月13日～6月20日、61日間	2023年6月22日～8月24日、53日間	2023年8月26日～10月31日、60日間	2023年11月2日～2024年1月16日、60日間	2024年1月18日～4月2日、66日間
内容	「白い馬の見える風景」連作の起点となった代表作《緑響く》を中心に、東山が約10年をかけて取り組んだ「唐招提寺御影堂障壁画」の制作に取り組むなかから生まれた《桂林月夜》、《瀧江暮色》、《黄山雨過》など、モノクロームの世界を中心に紹介します。また、絶筆となった《夕星》を展示します。	「白い馬の見える風景」連作から《水辺の朝》、《草青む》とその習作群をはじめ、《沼の静寂》や《緑の窓》など夏の風景を描いた作品や、《石の窓》やドイツ・オーストリアの旅で得られたスケッチや習作をご紹介します。	学生時代の東山が志賀高原を描き帝展に出品した《山谿秋色》や、《紅翳》、《紅葉の谷》、大和路への取材から生まれた《秋思》など、東山が描いた様々な秋の風景をご紹介します。また、ドイツに取材した《窓》や、フランスの公園を描いた《静唱》などをご覧ください。	「白い馬の見える風景」連作のうち最大の作品《白馬の森》を中心に、楓の落葉が黄金色に敷き詰められた《行く秋》、幻想的な雰囲気漂う《夕紅》、《木枯らし舞う》など晩年描いた秋の景色などを展示します。	長野県の厳しい冬の様相を描き出す《霧氷の譜》や《冬の旅》をはじめ、春の訪れを描いた《春兆》や、《祭りの夜》や《柿生の里》など、東山が学生時代の初期の作品をご紹介します。
イベント	ギャラリートーク 5/20(土)14:00～／参加人数:26名	ギャラリートーク 7/15(土)14:00～／参加人数:20人	ギャラリートーク 9/16(土)14:00～	・東山魁夷愛蔵レコードと共に(仮称) 日時:11/17(金)、18(土) 各日10:00～、13:00～、15:00～ 各回1時間弱、展示室内で愛蔵レコードをかける ・ギャラリートーク 日時:11/18(土)14:00～	ギャラリートーク 3/16(土)14:00～
入館者	24,765人 (有料16,905人、無料:7,860人)	21,647人 (有料14,942人、無料:6,705人)			
予算	6,417,000円				
担当学芸員	松浦千栄子/茂原奈保子				

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(4)オープンギャラリー

展覧会名	第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展 細井美裕・比嘉了	公開制作VOL.3 蓮沼昌宏 制作、テーブル、道
日程	2023年7月15日(土)～2023年9月10日(日)	2023年10月14日(土)～2024年2月4日(日)
内容	<p>交流スペースのためのコミッションワーク事業「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト」の成果展示として細井美裕・比嘉了による新作《配置訓練 細井美裕＋比嘉了》と関連資料を展示する。</p> <p>2021年春にリニューアルオープンした長野県立美術館。新設された交流スペースのためのコミッションワーク(委託制作)プロジェクト「新美術館みんなのアートプロジェクト(映像)」の成果展「Something there is that doesn't love a wall—榊原澄人×ユーフラテス」では、榊原澄人《飯縄縁日》(2021)とユーフラテス《1本の線》(2021)を公開した。</p> <p>その後継プロジェクトの成果展となる本展では気鋭の作家・細井美裕と比嘉了による新作を公開。長野県出身でメディアアート分野におけるキュレーションを牽引する阿部一直氏をキュレトリアル・アドバイザーとして招聘し、マルチチャンネル音響によって空間そのものを意識させるサウンドインスタレーションや、舞台公演、自身の声の多重録音を特徴とした作品制作をおこなう細井美裕と、第64回NHK紅白歌合戦でのPerfumeのライブ演出、坂本龍一＋真鍋大度による札幌国際芸術祭2014出展作品<センシング・ストリームズー不可視、不可聴>などのプロジェクトに参加する比嘉了による映像音響作品を公開する。</p>	<p>公開制作は、アーティストが一定期間美術館に滞在して作品を制作し、来館者にその制作過程や完成した作品をご覧いただくプログラムである。Vol.3となる今年度は自身の経験や発見から物語をつむぎ、絵画や写真、手回しの動画装置キノラによるアニメーションを手掛ける蓮沼昌宏を招へいする。</p> <p>今年でアーティストとしてのキャリアが20年目を迎える蓮沼氏は、継続的に多数の展覧会やプロジェクトに参加し、その都度特定の「テーマ」に沿った作品を制作・発表してきた。こうした背景のもと、彼は今回の公開制作を「制作そのもの」に向き合う期間とし、約3か月にわたる制作期間ではゴールを定めずにひたすら手を動かすことにした。この間蓮沼氏は、ほぼ1週間に1度のペースで美術館に滞在し、写真やドローイングなどの作品を制作することを予定している。</p> <p>後半の展示期間は、制作期間の3か月のあいだに生まれた作品たちを用いて展覧会を構成する。通常の作り方とは逆順をたどることになる展覧会は、作家と美術館と両名にとって、一種の実験的な試みとなる。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	主催：長野県、長野県立美術館 共催：株式会社ジェネレックジャパン、株式会社静科 キュレトリアルアドバイザー：阿部一直 サウンドエンジニア：奥田泰次(studio MSR)	長野県、長野県立美術館
イベント	<p>「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展 配置訓練 細井美裕＋比嘉了」関連イベント 細井美裕《起点》</p> <p>会期 2023年9月1日(金)～9月19日(火)</p> <p>会場時間 9:00 - 17:00</p> <p>休館日 水曜日</p> <p>会場 3階屋上「風テラス」</p>	<p>アーティストトーク(予定)</p> <p>①講師：畠山直哉(写真家、東京藝術大学大学院映像研究科教授)、蓮沼昌宏(招へい作家)</p> <p>日時：11月19日(日)14:30～16:00</p> <p>会場：本館1F 交流スペース</p> <p>参加人数：●人</p> <p>②講師：林立騎(翻訳者、演劇研究者、那覇文化芸術劇場なはーと企画制作グループ長)、蓮沼昌宏(招へい作家)</p> <p>日時：12月23日(土)14:30～16:00(開場14:00)</p> <p>会場：本館1F 交流スペース</p> <p>参加人数：●人</p>
入館者	3,465人	
予算	予算 5,978,000円	
担当学芸員	松井正	茂原奈保子

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(5) アートラボ

区分	第Ⅰ期	第Ⅱ期
展覧会名	アートラボ2023第Ⅰ期 中ハシクシゲ展 おしめの家族	アートラボ2023第Ⅱ期 光島貴之展 かたちと手ざわりで行ったり来たり
日程	2023年5月13日(土)～2023年8月1日(火)	2023年8月5日(土)～2023年10月24日(火)
内容	<p>長野県立美術館本館2階の「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー(実験室)」となることを目指しています。2023年度の第Ⅰ期展覧会では、中ハシクシゲを紹介します。</p> <p>展示作品 ・《おしめの家族(車椅子犬)》2021年 ・《おしめの家族(介護犬)》2021年 ・《おしめの家族(おねんね)》2021年 ・《Cat in the dark》1982年 ※特別出品(予定)</p> <p>中ハシクシゲ 略歴 現代美術作家、彫刻家。京都市立芸術大学名誉教授。 1980年代末から日本の風土に寄り添った彫刻作品を志向し、剪定された松や力士、天皇像、写真を使った「ZERO Project」などに取り組んだのち、粘土による即興的なモデリングを始める。 アイマスクを付けて視覚を遮断し、触覚だけで作品を制作するという実験的な手法により、触覚体験の可能性を探求している。</p>	<p>展示作品 ・《かたちと手ざわりで行ったり来たり》2021年 ・《触覚でめぐる360度》2021年 ・《新しい点字ブロック(ショッピングモールでハンバーガー屋さんを見つける)》2021年 ・《新しい点字ブロック(行きたい方角を足裏で感じる)》2021年 ・《新しい点字ブロック(待ち合わせ場所)》2021年</p> <p>光島貴之 略歴 1954年京都生まれ、在住。美術家・鍼灸師。10歳頃に失明。 1992年より粘土造形を、1995年より製図用ラインテープとカットングシートを用いた「さわる絵画」の制作を始める。1998年、「'98アートパラリンピック長野」大賞・銀賞を受賞。2020年、“アトリエみつしま”を立ち上げ、スタッフとともに作品制作やワークショップ等を精力的に行っている。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	主催:長野県、長野県立美術館	主催:長野県、長野県立美術館
イベント		<p>①光島さんとさわるアートをつくろう 日時:2023年10月15日(日)10:00～12:00 講師:光島貴之(美術家) 定員:10名程度(申込先着順) 会場:本館1階 交流スペース 参加費:無料 対象:小学生以上どなたでも</p> <p>②光島さんと作品鑑賞会 日時:2023年10月15日(日)13:30～15:00 講師:光島貴之(美術家) 定員:8名程度(申込先着順) 会場:本館2階 アートラボ 参加費:無料 対象:小学生以上どなたでも</p>
入館者	入館者数:6,480人	入館者数:5,005人(9月30日現在)
予算	予算:4,931,000円(年間)	
担当学芸員	青山由貴枝	柄澤初音、青山由貴枝

1 令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(5) アートラボ

区分	第Ⅲ期	第Ⅳ期
展覧会名	アートラボ2023第Ⅲ期 廣瀬智央 みかんの旅	アートラボ2023第Ⅳ期 金箱淳一展(仮称)
日程	2023年11月3日(金・祝)～2024年2月12日(月・祝)	2024年2月17日(土)～2024年5月14日(火)
内容	<p>本展では、“嗅覚”という感覚に焦点を当てながら、現在、廣瀬が進めるアート・プロジェクト「commons農園」をご紹介します。</p> <p>みかんをテーマに感覚的な豊かさの再発見や、新たな価値観を創出していこうとするプロジェクトです。</p> <p>展示作品について(予定)</p> <p>レモンを使ったインスタレーションや彫刻作品などで嗅覚や触覚など、これまでに鑑賞者の五感に強く働きかける作品を多く制作。</p> <p>本展は、約7点の作品で構成されています。「みかん」をテーマにした「commons農園」のコンセプトや未来を予感させるインスタレーション、嗅覚を取り入れた彫刻作品を展示予定。視覚だけに頼らないアートの可能性を提示します。</p> <p>廣瀬 智央 略歴</p> <p>1963年東京都生まれ。89年多摩美術大学卒業後、96年にブレラ美術アカデミーを修了。現在もミラノを拠点に活動をおこなっている。世界各地の美術館、ギャラリーでの展覧会に数多く参加している。最近では、母子生活支援施設の母子と空の写真を交換し合う「空のプロジェクト」など、社会との接点を意識し、既存のアート活動を越えた長期的なプロジェクトも手がけている。</p>	<p>長野県立美術館本館2階の「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー(実験室)」となることを目指しています。2023年度の第Ⅳ期展覧会では、金箱淳一を紹介します。</p>
観覧料金	無料	無料
主催等	<p>主催:長野県、長野県立美術館</p> <p>協力:アウラ現代藝術振興財団、小山登美夫ギャラリー、和歌山県紀南みかん農園</p>	<p>主催:長野県、長野県立美術館</p>
イベント	<p>①いちどためしてごらん(対象を分け全4回開催予定)</p> <p>日時:11月4日(土)、11月26日(日)、12月3日(日) AM、12月3日(日)PM</p> <p>講師:廣瀬智央(作家)</p> <p>会場:本館1階 交流スペース</p> <p>参加費:無料</p> <p>②対談トーク(仮称)</p> <p>日時:11月26日(日)14:00～15:30頃</p> <p>ゲスト:金井直(信州大学人文学部教授)、廣瀬智央(作家)</p> <p>会場:本館3階 レセプションルーム</p> <p>参加費:無料/申込不要</p> <p>③メールプロジェクト(予定)</p> <p>会期中、アートラボ前にて開催するサブイベントを実施</p>	
入館者		
予算	—	
担当学芸員	青山由貴枝	山下樹里、青山由貴枝

令和5年度展覧会事業実施状況及び計画

(6) 交流展・移動展

	交流展	移動展1	移動展2
展覧会名	辰野美術館開館45周年記念 長野県立美術館交流名品展 日本 の真ん中で美がひらく	2023年度長野県立美術館移動 展in伊那文	2023年度長野県立美術館移動 展 開拓の記憶—南牧村でたど る信州の原風景
日程	2023年10月7日(土)～11月26日 (日) * 休館日：月曜日(10/9は 開館)、10/10(火)		2023年10月21日(土)～11月3日 (金) * 休館日：毎週月曜日
内容	日本の地理的中心である辰野町は伊那谷の北端に位置し、諏訪・松本の各地域にも接しており、古くから人と文化の往来が盛んでした。こうした背景から多くの芸術家が生まれ、辰野美術館はその作品を広く公開するため、1978(昭和53)年に「辰野町郷土美術館」として開館し、改称を経て現在に至ります。長野県信濃美術館から改称し、2021(令和3)年に新築オープンした長野県立美術館では、県内各地域の美術館と共に、コレクションを活用し、協働で企画・立案・実施する展覧会を毎年開催しています。長野県立美術館との共同開催となる本展では、両館のコレクションから諏訪・南信そして木曾地域にゆかりの深い作品を中心にご紹介します。近代の名品から現代美術まで、多様な表現をご覧ください。	本年は、県立美術館NAMコレクション展のうち、第Ⅲ期の出品作を中心に展示します。開国以来、国内外でさまざまな情報に触れて、西洋の同時代美術に感化された作家たちは、やがて日本における自身の芸術を模索するようになります。本展では、河野通勢や小山敬三を始めとして、南信出身の須山計一や中川紀元ら西洋と日本の中で新たな表現に取り組んだ作家たちの作品を紹介します。また、当館企画展「とびたつき—池田満寿夫とデモクラートの作家」(9/9～11/5)にちなみ、ヴェネツィア・ビエンナーレでの大賞受賞後の池田満寿夫の軌跡を特集します。併せて、菱田春草や横山大観と共に日本美術院を創設した、生誕150年を迎える松本出身の日本画家、西郷孤月を取り上げます。	長野県立美術館では、当館のコレクションをより多くの方に鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催している。今年度は、八ヶ岳の裾野に位置する南牧村で、信州所縁の作品を中心とした長野県立美術館のコレクションを展覧する。標高1350メートルに位置する南牧村は、酪農や高原野菜の産地として名高い野辺山高原を有する信州屈指の冷涼地帯である。この野辺山高原では、戦後間もない1946(昭和21)年に復員者や引揚者が入植し、農地開拓が行われた。本展では、「牧場と人々の暮らし」「八ヶ岳周辺の風景」「開拓の記憶—馬と人と」「山を歩いて」の4章から、八ヶ岳やその周辺の自然を描いた風景画を中心に、信州の原風景としての開拓の記憶をたどる。
観覧料金	一般600(500)円、 高校生以下無料	一般500(400)円、大学生及び75歳以上300(200)円 高校生以下又は18歳未満無料	無料
主催等	主催：辰野町、辰野美術館 共催：長野県、長野県立美術館 後援：信濃毎日新聞社、中日新聞社、市民新聞グループ、長野日報社、市民タイムス、エルシーブイ株式会社	主催：長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館 共催：長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会	主催：長野県、長野県立美術館、南牧村、南牧村教育委員会
イベント	①10月7日(土)13:30～ 長野県立美術館館長による講演会(申込先着順、入館入館料) ②10月21日(土)13:30～ 長野県立美術館学芸員によるギャラリートーク(申込不要、要入館料) ③11月18日(土)13:30～ 長野県立美術館学芸員によるギャラリートーク(申込不要、要入館料)	長野県立美術館学芸員によるギャラリートーク ①10月28日(土)14:00～14:30 ②11月11日(土)14:00～14:30 申込不要、参加無料、要観覧券	10月21日(土) 14:00～ 長野県立美術館学芸員によるギャラリートーク(参加費無料、事前申込不要)
入館者	目標：500人	目標：1000人	目標：500人
予算	2,000,000	3,016,000	3,024,000
担当学芸員	佐々木裕貴子	池田淳史	古家満葉

2 令和3年度交流事業実施状況
新築オープン記念イベント

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 中谷芙二子《霧の彫刻》 + 田中 泯「場踊り」	<p>長野県立美術館の新しいコンセプトである“ランドスケープ・ミュージアム”を象徴する作品として常設された、中谷芙二子の《霧の彫刻》。これに合わせて、田中泯による「場踊り」を行った。多くの観客が、《霧の彫刻》の前で立ち現れる「場」と「身体」が交差する瞬間を目撃した。</p> <p>日時 4月24日（土） 14:30～ 場所 水辺テラス周辺</p>	1	60
2 いいだ人形センター公演 「人魚姫」	<p>毎年夏に飯田市で開催される、国内最大規模の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」。市民は、“みる 演じる ささえる”立場で参加し、フェスティバルを盛り上げる。「人魚姫」は、高校生から60代の市民たちが、プロのアーティストと共に作り上げた本格的な舞台作品で、飯田発の人形劇として大いに注目を集めた。当館では、映像を効果的に取り入れた特別な演出で公演した。</p> <p>日時 6月5日（土） ①13:00～14:00 ②15:30～16:30 場所 ホール</p>	2	100
3 小松美羽 ライブペインティング	<p>坂城町出身の現代アーティスト・小松美羽によるライブペインティングを実施した。ライブペインティングと同時に、オープンギャラリーでは作品の展示も行った。</p> <p>日時 7月25日（日） 14:00～15:00 場所 ホール</p>	1	70

2 令和3年度交流事業実施状況

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 善光寺平アートライン推進協議会	<p>・善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。</p> <p>加盟館(順不同) 【長野市】 北野美術館/水野美術館/長野県立美術館 【須坂市】 豪商の館 田中本家博物館/笠鉾開館ドリームホール/須坂版画美術館/世界の民族人形博物館/須坂クラシック美術館/旧小田切家住宅 【小布施町】 おぶせミュージアム・中島千波館 【高井】 山記念館/北斎館/日本のあかり博物館 【高山村】 一茶ゆかりの里一茶館</p>	1	24
2 県内大学等との連携事業	<p>・清泉女学院大学3年生の学芸員課程履修者を対象として、ワークショップの立案から実施に至るまでのプロセスを学ぶプロジェクトを実施。当館主催イベント「こどもアートラボ」内での実施を目標に、学生自らが考えワークショップの実現に向けて進めていった。また、長野美術専門学校への出張講座及び講師協力にも対応した。</p>	3	128
3 インクルーシブ・プロジェクト	<p>・美術館がだれでも安心してアートと出会える場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展覧会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」の開催。特別鑑賞日開催に伴い、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るため事前研修を実施した。</p>	4	228

2 令和4年度交流事業実施状況

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 善光寺平アートライン推進協議会	・善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。		
2 MLA連携事業	・長野県内のMLA（美術館・博物館、図書館、アーカイブ）機関施設や職員の連携を図る取り組みとして、「信州・知のフォーラム」を開催。	1	59
3 地域との連携事業	・長野市立城山小学校クラブ活動のうち、美術館を会場として実施する「アートクラブ」への講師協力をおこなった。展示室内での鑑賞やワークショップを通して、美術館をより身近に感じながら、館内で楽しく過ごす機会を創出した。また、県内美術館との連携事業として、茅野市美術館でのサポーター講座に協力した。	6	138
4 県内大学等との連携事業	・信州大学（教育学部）、清泉女学院大学（学芸員課程）との連携事業として、「鑑賞」をテーマとした出張授業および館内プログラムを実施。美術館を身近なものとし、展示室での鑑賞体験をより豊かなものとする機会とした。	5	103
5 インクルーシブ・プロジェクト	・美術館がだれでも安心してアートと出会う場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展示会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」の開催や、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るため事前研修等を実施した。また、視覚障がいをテーマとしたインクルーシブイベントを3回実施し、障がいの有無を超えて、アートを体験できる機会を提供した。	5	332

2 令和5年度交流事業実施状況及び計画

※令和5年9月30日現在

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 善光寺平アートライン推進協議会	<p>・善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館及び芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究などを通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2016年度より長野県立美術館に事務局が置かれている。</p>		
2 MLA連携事業	<p>・長野県内のMLA（美術館・博物館、図書館、アーカイブ）機関施設や職員の連携を図る取り組みとして、「信州・知のフォーラム」を開催。</p> <p>令和5年12月7日（木）開催予定</p>		
3 地域との連携事業	<p>・長野市立城山小学校クラブ活動のうち、美術館を会場として実施する「アートクラブ」への講師協力をおこなった。展示室内での鑑賞やワークショップを通して、美術館をより身近に感じながら、館内で楽しく過ごす機会を創出（6月～9月）。また、県内美術館との連携事業として佐久市立近代美術館にて学習事業を実施（6月）。善光寺との連携企画として学習事業で実施している「こどもアートラボ」を善光寺境内を会場として開催予定（10月）。</p>	6	110
4 県内大学等との連携事業	<p>・信州大学（教育学部）、清泉女学院大学（学芸員課程）との連携事業として、「鑑賞」をテーマとした出張授業および館内プログラムを実施。美術館を身近なものとし、展示室での鑑賞体験をより豊かなものとする機会として予定（10月～2月）。</p>		
5 インクルーシブ・プロジェクト	<p>・美術館がだれでも安心してアートと出会う場所になることを目指すプロジェクト。障がいのある方がより安心して美術館に訪れることができるよう、休館日に開館し、展覧会を鑑賞することができる「障がいのある方のための特別鑑賞日」の開催（7月/10月）や、館内スタッフのインクルーシブスキル向上を図るため事前研修等を実施した。また、視覚障がいをテーマとしたインクルーシブイベントを実施予定（11月）。</p>	1	169

3 令和3年度学習事業実施状況

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 スクールプログラム	<p>・県内外の小・中・高等学校、特別支援学校を対象とした学校団体鑑賞の受入は、「自由鑑賞」「ガイドツアー」「たてものツアー」の3つのプログラムで計168校(児童生徒7,015名)が参加した。また、信州大学附属病院 院内学級への出張講座を1回実施し、教員研修として県内の教員の研究会等からの講師依頼を6回、美術館主催研修を1回実施、貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、30校の学校へ貸出した。</p>	計 206	計 7,180
	・学校団体鑑賞の受入	168	7,015
	・盲・ろう・特別支援学校等へ出張講座	1	14
	・学校教職員の研修会等の開催及び協力	7	121
	・鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出	30	30
2 鑑賞プログラムの開催	<p>・子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1回の体験プログラム「こどもアートラボ」や、新しくなった県立美術館をめぐる「たてものツアー」を開催し、美術館に始めて訪れる方が、アートに親しむための機会とした。</p>	9	467
3 アート・コミュニケーター	<p>・アートを介してさまざまなコミュニケーション活動をおこなう人々「アート・コミュニケーター(AC)」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。</p> <p>本年度は、2020年度に募集したアート・コミュニケーター1期生34名が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画などを積極的におこなった。</p> <p>館内活動の拠点は、本館2階のアート・コミュニケータールームを使用するが、コロナ禍の本年度は、美術館とAC、AC同士をつなぐツールとして、メーリングリストや専用掲示板のほか、オンライン会議システムzoomミーティングを使用し、情報共有の機能を充実させた。</p>	13	2,460

3 令和4年度学習事業実施状況

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 スクールプログラム	<p>・学校団体鑑賞の受入では、県内外の小・中・高等学校を対象とした「自由鑑賞」、特別支援学校を対象とした「オリジナルプログラム」をおこない、計123校（児童・生徒6290名）が来館した。また、長野ろう学校や県内特別支援学校への出張講座を2回、信州大学附属病院院内学級へのオンラインによる出張講座を3回、県内の教員の研究会等からの依頼で教員研修会を2回実施した。貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、10件の学校教育施設へ貸出した。</p>	計 141	計 6,613
	・学校団体鑑賞の受入	123	6,290
	・盲・ろう・特別支援学校等への出張講座	5	36
	・学校教職員の研修会等の開催及び協力	3	277
	・鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出	10	10
2 鑑賞プログラムの開催	<p>・子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1回の鑑賞プログラム「子どもアートラボ」や、展示室で対話による鑑賞をおこなう「おやこでトーク」を開催。また、3つの巨石を来館者とともに磨く「Love Stone Project-nagano石磨きワークショップ」を開催し、美術館に訪れる方が、アートに親しむための機会とした。</p>	15	1,134
3 アート・コミュニケーター	<p>・アートを介してさまざまなコミュニケーション活動をおこなう人々「アート・コミュニケーター（AC）」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。 本年度は、アート・コミュニケーター1期生28名が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画（ACラボ）、ACを対象とした勉強会（ACゼミ・AC会）などを積極的におこなった。 館内活動の拠点として、本館2階のアート・コミュニケータールームを使用するほか、美術館とAC、AC同士をつなぐツールとして、専用掲示板の機能向上を図った。また、2期生の募集をおこない、全6回の基礎講座を修了した28名が2期生として正式に加わった。</p>	42	1,375

3 令和5年度学習事業実施状況及び計画

※令和5年9月30日現在

事業名	事業内容等	延回数	参加者数
1 スクールプログラム	<p>・学校団体鑑賞の受入では、県内の小・中・高等学校を対象とした「自由鑑賞」、特別支援学校を対象とした「オリジナルプログラム」を年間を通しておこなう。また、長野養護学校や県内特別支援学校への出張講座への協力、信州大学附属病院や県立こども病院の院内学級への出張講座、県内の教員の研究会等からの依頼で教員研修会への協力を予定している。貸出教材「長野版アートゲーム」は昨年度から引き続き、随時、学校育施設へ貸出をおこなう。</p>	計 74	計 2,421
	・学校団体鑑賞の受入	55	2,310
	・盲・ろう・特別支援学校等への出張講座	5	60
	・学校教職員の研修会等の開催及び協力	3	40
	・鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出	11	11
2 鑑賞プログラムの開催	<p>・子どもから大人までを対象に、コレクションや展覧会をテーマにした毎月1回の鑑賞プログラム「こどもアートラボ」や、展示室で対話による鑑賞をおこなう「おやこでトーク」「おとなもトーク」を開催。また、3つの巨石を来館者とともに磨く「Love Stone Project-nagano石磨きワークショップ」や、毎月第4土曜日を「トークフリーデー」に設定するなど、美術館に訪れる方が、アートに親しむための機会を創出する。</p>	13	1,081
3 アート・コミュニケーター	<p>・アートを介してさまざまなコミュニケーション活動をおこなう人々「アート・コミュニケーター（AC）」とともに、美術館を「出会いと学びの場」とする事業。 本年度は、アート・コミュニケーター1期生28名と2期生28名（合計56名）が美術館に通いながら、館主催プログラムへの参加や、日々の活動の中から生まれたAC自主企画（ACラボ）、ACを対象とした勉強会（ACゼミ・AC会）などを実施。 館内活動の拠点として、本館2階のアート・コミュニケータールームを使用するほか、美術館とAC、AC同士をつなぐツールとして専用掲示板を運営。また、11月以降、3期生の募集をおこない、全6回の基礎講座を実施予定。</p>	6	166

4 令和3年度貸館事業実施状況

(1) しなのギャラリー展覧会

展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
				有料	無料	計
1 清水潤子個展「花と友に…いけばな展」 ～清水潤子と花を愛する仲間たち～	「花と友に…いけばな展」実行委員会	6/3～6/8	6	0	1,365	1,365
2 フェリーサのジェニュインキルト展 紡がれた美しき世界	中沢フェリーサ	6/11～6/15	5	0	600	600
3 第65回記念 新世紀長野展	新世紀美術協会長野支部	7/9～7/13	5	0	1,039	1,039
4 第54回一陽会長野展	一陽会長野支部	7/23～7/27	5	0	700	700
5 津田翔一 油彩画展 ～明るい洞窟～	津田 翔一	7/29～8/3	6	121	0	121
6 ZAWAMEKI ART EXHIBITION 2021 The Invisible Landscape 80人がつくる風景	信州ザワメキアート展 2021 実行委員会	8/8～8/23	14	0	4,714	4,714
7 第40回記念 長野県工芸展	長野県工芸会	8/27～8/31	5	0	819	819
8 「ペンの庫」展	信濃毎日新聞社	9/19～9/26	7	0	1,109	1,109
9 カラコレス研究生グループ展～プリザーブ ド&アートフラワーの世界～	カラコレス・プリザーブド& アートフラワースクール	10/1～10/5	5	0	304	304
10 長野県華道協会 いけばな展2021～伝統を 守り続けて80年～花を愛で・心いやされて	長野県華道協会	10/8～10/11	4	0	1,385	1,385
11 第10回 藍の会書展 併催 日詰静琴書展	書道研究 藍の会	10/22～10/24	3	0	700	700
12 第54回「ふれあい展」長野県上水内特別 支援学級・特別支援学校 児童生徒作品展	長野県上水内特別支援教育 担任社会	10/29～11/2	5	0	2,086	2,086
13 第62回 北信高校美術展	北信高校美術展事務局	11/6～11/9	4	0	643	643
14 三輪小学校 秋の校内展覧会	長野市立三輪小学校	11/26～11/28	3	0	810	810
15 2021 信州ねりんピック長野県高齢者作 品展 巡回展	2021 信州ねりんピック 実行委員会	12/2～12/7	6	0	353	353
16 山田「洋子水彩画&まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	12/2～12/7	6	0	865	865
17 上高田保育園40周年記念 絵画展 ～ヒトから人間になる～	上高田保育園父母会	12/19～12/25	6	0	738	738
18 第31回長野市風景画展	長野市文化スポーツ 振興部 文化芸術課	1/8～1/18	10	0	2,955	2,955
19 令和3年度信州大学教育学部 図画工作・ 美術教育コース 卒業記念展覧会	信州大学教育学部 図画 工作・美術教育コース	2/10～2/15	6	0	311	311
20 善光寺絵画コンクール	善光寺の世界遺産登録を すすめる会	2/19～2/27	8	0	537	537
21 第49回日本の書展	信濃毎日新聞社事業部 「日本の書展」係	3/4～3/7	4	1,547	0	1,547
22 第51回新構造長野県展	(一社) 新構造社長野支部	3/11～3/15	5	0	463	463
計			128	1,668	22,496	24,164

(2) ホールにおけるイベント

展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
				有料	無料	計
1 コロナに負けるな！長野商連げんき寄席 2021	長野商店会連合会	11/27	1	209	0	209
計			1	209	0	209

4 令和4年度貸館事業実施状況

(1) しなのギャラリー展覧会

	展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
					有料	無料	計
1	善光寺御開帳2022日本一の門前町大縁日 わが街ながのゆかりの作家展 水上民平展	長野市文化スポーツ振興部文化芸術課	4/1～4/12	11	0	477	477
2	しなの芸術祭 和楽2022	株式会社六曜社	4/23～4/25	3	0	559	559
3	My SDGs展 Part II	学校法人岡学園トータルデザイン アカデミー	4/30～5/8	8	0	809	809
4	丸山宏信かな書展 ―屏風展―	丸山宏信	5/13～5/17	5	0	550	550
5	長野市風景画展歴代受賞作品展	長野市文化スポーツ振興部文化芸術課	5/20～5/31	11	0	1,586	1,586
6	山田「洋子水彩画&まさお造形」の夫婦展	アトリエようこ	6/3～6/7	5	0	497	497
7	秦泉寺由子 20周年記念展	Galley 夏至	6/10～6/13	4	0	150	150
8	第73回 北信美術展	北信美術会	6/23～6/27	5	0	2,511	2,511
9	カラコレス研究生グループ展 ～プリザーブド&アート フラワーの世界～	カラコレス・プリザーブド&アート フラスクール	7/1～7/5	5	0	156	156
10	山の日ポスター展 2022	JAGDA 長野地区	7/14～7/19	6	0	70	70
11	表具師 北岡芳仙洞 創作箔アートパネル展 ～染めた和紙・織物と金銀箔で新しい表現を～	有限会社芳仙洞	7/21～7/26	6	0	520	520
12	津田翔一 油彩画展 2016-2022	津田翔一	7/28～8/9	11	30	0	30
13	田村美奈展「空へ」	田村美奈	8/12～8/16	5	0	469	469
14	第41回長野県工芸展	長野県工芸会	8/26～8/30	5	0	667	667
15	第75回長野県書道展覧会	長野県書道展運営委員会	9/4～9/11	7	0	1,751	1,751
16	第74回長野県美術展	北信高校美術展実行委員会	9/25～10/2	7	0	3,207	3,207
17	第10回記念書道発表会 明扇書藝會	明扇書藝會	10/7～10/10	4	0	550	550
18	第22回水墨画県展	長野県水墨画協会	10/15～10/18	4	0	559	559
19	第44回新世紀長野支部展	新世紀美術協会長野支部	10/21～10/25	5	0	351	351
20	第43回北信高等学校書道展	長野県高等学校文化連盟県事務局	10/27～10/30	3	0	240	240
21	第63回 北信高校美術展	長野県美術展運営委員会	11/5～11/8	4	0	618	618
22	長野県上水内特別支援学級・特別支援学校 児童生 徒作品展 第55回 ふれあい展	長野上水内特別支援教育担当者会	11/11～11/15	5	0	2,003	2,003
23	第25回 謙慎書道会甲信北越展	謙慎書道会甲信北越展実行委員会	12/9～12/11	3	0	322	322
24	第32回長野市風景画展	長野市文化スポーツ振興部文化芸術課	1/21～1/31	10	0	1,471	1,471
25	第73回長野県児童生徒美術展／第38回長野市・上水内郡中 学校美術部合同展／令和4年度長野上水内教育会図工美術展／ 第32回北信ブロック展	長野県美術教育研究会長野上水内支部	2/3～2/7	5	0	2,314	2,314
26	令和4年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 「きになるみになるき～卒業記念展覧会～」	信州大学教育学部 図画工作・美術 教育コース	2/9～2/14	6	0	260	260
27	第50回 日本の書展	信濃毎日新聞社事業部	3/3～3/6	4	1,649	0	1,649
28	第52回 新構造社長長野県展	一般社団法人新構造社長長野県支部	3/10～3/14	5	0	379	379
計				162	1,679	23,046	24,725

(2) ホールにおけるイベント

	展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
					有料	無料	計
1	水墨画協会 担当者会議	長野県水墨画協会	7/16	1	0	23	23
2	プログラミングで海の SDGs !	一般社団法人 イエローピン プロジェクト	7/23	1	0	100	100
3	第6講座(哲学)「芸術体験と哲学対話」	一般社団法人 長野上水内教育会	7/29	1	0	48	48
4	日本博事業 アールブリュットと関係性と大西暢夫写真展	県手をつなぐ育成会	10/22～10/23	2	0	169	169
5	令和4年度信州の木建築賞表彰式	長野県建設部建築住宅課	11/21	1	0	48	48
6	長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式	長野県木材青壮年団体連合会	11/26	1	0	60	60
計				7	0	448	448

4 令和5年度貸館事業実施状況及び計画

(1) しなのギャラリー展覧会

展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
				有料	無料	計
1 長野市華道家連盟いけばな展2023 華・希望のひかり	長野市華道家連盟	4/14-4/17	4	0	3,059	3,059
2 長野県華道協会いけばな展2023 春風 花・心いやされて	長野県華道協会	4/21-4/24	4	0	1,828	1,828
3 御嶽山噴火災害、あの日から写真展	山びこの会	5/12-5/16	5	0	538	538
4 第9回山田洋子透明水彩画&まさ お造形の夫婦展(友情展示:駒澤 琛道、加藤芳忠)	アトリエようこ	5/19-5/23	5	0	500	500
5 CAVA実行委員会	CAVA展	5/26-6/6	11	0	381	381
6 第49回 信州版画展	信州版画協会	6/9-6-13	5	0	360	360
7 第74回 北信美術展	北信美術会	6/22-27	6	0	2,737	2,737
8 カラコレス研究生グループ展プリ ザーブド&アートフラワーの世界	カラコレス・プリザーブド&ア ートフラスクール	6/30-7/4	5	0	131	131
9 小田切八景切り絵展	長野市小田切地区住民自治協議会	7/7-7-11	5	0	198	198
10 第56回 一陽会長野展	一陽会長野支部	7/28-8/1	5	0	229	229
11 第18回まつしろ現代美術フェス ティバル 2023【中・日・韓】国 際現代芸術交流展	(一社)信州国際芸術区	8/11-8/21	10	0	657	657
12 第42回 長野県工芸展	長野県工芸会	8/25-8/29	5	0	604	604
13 100の1000 —日本100名山の標高 1000m	1000の100開催実行委員会	9/7-9/12	6	0	100	100
14 第75回長野県美術展	信州美術会	9/24-10/1	7	0	3,135	3,135
15 愛をこめて ~陶芸家 倉田正巳 20年の軌跡~	倉田 正巳	10/6-10/10	5	0	158	158
16 K展 K点を求めて	K展実行委員会	10/20-10/24	5	0		
17 水内大社の大絵馬お披露目会	長野美術専門学校	10/20-10/24	4	0		
18 令和5年度 第39回長野県高等学校書道展	長野県高等学校書道展	10/26-10/31				
19 第64回北信高校美術展	北信高校美術展実行委員会	11/2-11/7				
20 北国の叙情	高野 元孝	11/9-11/21				
21 長野上水内特別支援学級・特別支 援学校児童生徒作品展 第56回ふ れあい展	長野上水内特別支援教育担任者会	11/23-12/5				
22 第3回北信地域ふっくらアート展	長野県障がい者福祉センター「サ ンアップル」	12/7-12/12				
23 ザワメキアート展2023	社会福祉法人長野県社会福祉事業 団(ザワメキサポートセンター)	12/7-12/26				
24 第33回長野市風景画展	長野市	1/4-1/16				
25 第46回長野県高等学校美術展	長野県高等学校文化連盟美術・工 芸専門部	1/18-1/23				
26 長野県児童生徒美術展・北信ブ ロック展・長野上水内図工美術 展・美術部合同展	長野県美術教育研究会長野上水内 支部	1/25-1/30				
27 令和5年度 信州大学教育学部 図画工作・美術教育コース 卒業 記念展覧会	信州大学教育学部図画工作・美術 教育コース	2/8-2/13				
28 新構造長野県支部展	新構造長野県支部	3/14-3/20				
計			97	0	14,615	14,615

(2) ホールにおけるイベント

展覧会名	主催団体	会期	日数	参加者数		
				有料	無料	計
1 朗読劇 目屋の桜「腐れ胡粉」異聞	一般財団法人戦没画学生慰霊美術 館「無言館」	6/11	1	120	0	120
2						
3						
計			1	120	0	120

5 令和3年度広報・マーケティング室事業

コンセプト「ランドスケープ・ミュージアム」について

もともとは善光寺界隈の風景に溶け込んだ美しい美術館という概念でしたが、これを拡充して、長野県という土地・場所（ランド）に美しいケープ（茎）をひろげる、人々の日々の暮らしや営みを豊かにする、という概念を加えたコンセプトのもとに広報活動を展開し、来館者により豊かな鑑賞体験の提供を目指します。具体的には、各企画展に沿った長野県の伝統産業との連携による商品開発等と情報発信等の事業を一体的に実施し、長野でしかできない文化体験を提供する「長野県美モデル」を構築を目指します。

1. R3年4月10日リニューアル開館。美術館ホームページに加えSNSと情報発信を強化。
HPアクセス数・SNSフォロワー数

	ホームページ アクセス数	Facebook フォロワー数	Twitter フォロワー数	Instagram フォロワー数	YouTube チャンネル登録者数
令和3（2021）年度	1,996,298	1,297	1,751	2,974	528

2. イベント

☆新築オープン記念イベント

4/25「原田マハ講演会」

5/5「ナガノコレクション2021」ほか

☆「風テラスライブ」屋上広場で音楽コンサートを4回開催

4/10 汐入規予 5/22 清水まなぶ 7/24 佐藤健作

10/16 塩入幸恵、西村夏葵



3. 美術館・展覧会広報

「館内パンフレット」を5言語（日・英・中《簡・繁》・韓）で制作。

案内表示 周辺道路、最寄りのバス停、長野駅にアクセス案内を設置。

展覧会周知のため駅コンコースにバナー広告を掲出。



長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum
（旧美術館本館・東山館）

JR長野駅新幹線ホーム 館案内



JR長野駅コンコース展覧会バナー広告

4. プレスリリース発行、取材対応

取材件数

新聞	テレビラジオ	雑誌・会報誌	Web SNS
123	68	147	120

5 令和4年度広報・マーケティング室事業

1. ホームページ・SNSの運用

HPアクセス数・SNSフォロワー数

	ホームページ アクセス数	Facebook フォロワー数	Twitter フォロワー数	Instagram フォロワー数	YouTube チャンネル登録者数
令和4（2022）年度	2,401,311	2,035	2,553	3,754	654

2. 周辺イベントとの連携

☆屋上広場「風テラスライブ」で長野市と共催で
音楽コンサート「2022街角アート&ミュージック」を開催。

公募によるプロ、アマ演奏家が出演

4/10、5/22、10/16計3回

☆美術館夜間開放

周辺で開催されるイベントに合わせ、美術館交流スペース、オープンギャラリーを夜間開放し、アニメーション作品や「信州の生活と版画展」を公開した。

・2022年12月10,11,17,18日 善光寺表参道イルミネーション 504名が来館

・2023年2月11, 12日 灯明まつり 1306名が来館



3. 展覧会広報

企画展に連動したオリジナル商品開発

☆ジブリ展 コラボスイーツ マカロン、エクレアほか
ジブリ展 フラッグを善光寺大門通りに掲出



スイーツ

ジブリ展ラッピングバスの制作

路線バスの延伸運行

展覧会期間中、バス運行 長野駅⇄美術館区間で延伸運行



ラッピングバスとフラッグ

☆戸谷成雄展

インターネット番組 ニコニコ美術館 R4年1月7日17:00-19:00 視聴数13,589

4. プレスリリース発行、取材対応

取材件数

新聞	テレビラジオ	雑誌・会報誌	Web SNS
98	52	99	88

5 令和5年度広報・マーケティング室事業

1. ホームページ・SNSの運用

HPアクセス数・SNSフォロワー数

	ホームページ アクセス数	Facebook フォロワー数	X(Twitter) フォロワー数	Instagram フォロワー数	YouTubeチャ ンネル登録者 数
令和3(2021)年度	1,996,298	1,297	1,751	2,974	528
令和4(2022)年度	2,401,311	2,035	2,553	3,754	654
令和5(2023)年度	*	2,085	2,840	4,210	723

* 2023.9.31時点



2. 展覧会広報

企画展に連動したオリジナル商品の開発

香合（容器の螺鈿技法を表現）を模したデザート

超絶技巧展 コラボメニュー 舌で楽しむ超絶技巧

北斎展 英語版展覧会ホームページ、英語版チラシ制作 インバウンド館者への対応

北斎展オリジナル商品（長野県の伝統産業と連携した制作）の開発、販売

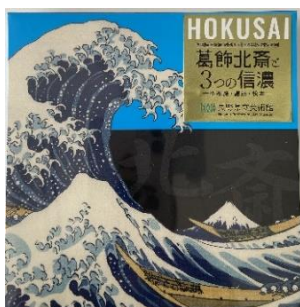
①浮世絵レリーフチョコレート 350個（県内企業で全て制作）

②特別鑑賞券（入場券、内山紙手すき和紙ポスター、ハガキ）100セット

③コラボメニュー アイスエクレア「赤富士」、コースメニュー「小布施」

3. 展覧会広報 善光寺大門境内に案内掲示

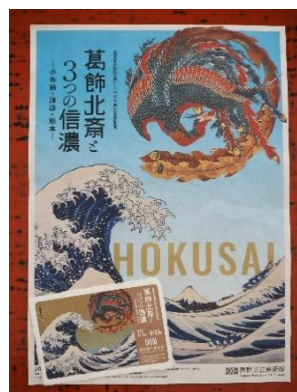
インターネット番組 ニコニコ美術館R5年8月6日18:00-20:00葛飾北斎展 視聴数14,621



浮世絵レリーフチョコレート



英語版チラシ



内山紙手すき和紙ポスター、ハガキ

4. プレスリリース発行、取材対応

取材件数

新聞	テレビラジオ	雑誌・会報誌	Web SNS
55	20	33	39

* 2023.9.31時点

6 施設等修繕実施状況(令和3年度)

(単位：円)

区 分	修繕等の実施内容	金 額
建物関係	・ 風除室電源(コンセント増設) 工事	61,600
	・ 東山結露対策事前調査	117,700
	・ 結露対策工事	3,795,000
設備・備品関係	・ リース車両(3台)車検修繕	107,740
	・ 霧の彫刻フォグライン破損修繕	99,000
	・ 軟水器不良本体交換	458,700
	・ 加湿器部品交換	143,660
	・ 空調室外機破損修繕	865,700
	・ 業務用車両車検修繕	89,859
外構関係	・ アプローチ点検口石板修繕	275,000
作品の修復	・ 川村驥山「紙本墨書扁」額装	924,000
	・ 池上秀畝「四季花鳥(冬)」(絵画)他 修繕	44,000
その他小修繕 (1件10万円未満)	・ 建築関係修繕以下4件	137,200
	・ 設備関係修繕以下2件	37,591
合 計		7,156,750

(内訳) 施設・設備修繕 6,188,750
 作品修復 968,000

6 施設等修繕実施状況(令和4年度)

(単位：円)

区 分	修繕等の実施内容	金 額
建物関係	・ 交流スペース誘導灯増設	180,400
	・ カフェ2階カウンターウエスタンドア破損交換修繕	129,580
	・ 本館機械室動力盤カットオフ機構増設	672,100
	・ 東山チラーユニット部品交換修繕	506,000
	・ 空調設備点検口増設	491,700
	・ 屋上及び屋外機用タラップ増設	990,000
	・ レストラン冬期用アクリル板増設	517,000
	・ 受水槽点検口設備不良改修	220,000
	・ 2階受付前扉動作不良改修	110,000
設備・備品関係	・ 霧の彫刻消耗品交換・配管設備不良交換修繕	254,584
	・ リース車両(3台)車検修繕	159,728
	・ PHS電話機3台増設	154,000
	・ 上水量水器不良メーター交換修繕	165,000
	・ セキュリティカード増設	104,500
	・ 霧の彫刻設備不良部改修点検	341,000
	・ 除雪機(2台)劣化部品交換修繕	197,440
	・ サーバーHDD設備交換修繕	330,000
	・ 霧の彫刻フォグライン取外し・設置一式	258,500
	・ 東山空調設備FCUフィルター設置	225,500
外構関係	・ 掲示用照明破損交換修繕	135,300
	・ 水景吐水口防水工事	539,000
作品の修復	・ 池上秀畝「秋日和(下図)」額装	376,200
その他小修繕 (1件10万円未満)	・ 建築関係修繕以下4件	201,850
	・ 設備関係修繕以下10件	352,924
合 計		7,612,306

(内訳) 施設・設備修繕 7,236,106
作品修復 376,200

6 施設等修繕実施状況(令和5年度 9月末現在)

(単位：円)

区 分	修繕等の実施内容	金 額
建物関係	・ 屋上テラス係留金具欠落再溶接工事	510,565
	・ 本館コレクション展示室系統VAVメンテナンス工事	371,800
	・ 3Fオープンデッキアンカー金物修繕工事	486,970
	・ 本館地下備品庫除湿器・渡連配管設置修繕	159,500
設備・備品関係	・ 東山空調設備用チャッキダンパー増設	311,300
	・ スプリンクラー圧力調整弁不良交換修繕	110,000
	・ 東山水景ろ過循環ポンプ不良部品交換修繕	192,500
	・ 業務用車両車検に伴う整備費用	169,433
外構関係		
作品の修復	・ 中村直人「会合」額装補修	26,950
その他小修繕 (1件10万円未満)	・ 建築関係修繕以下6件	264,165
	・ 設備関係修繕以下2件	49,500
	・ 備品関係修繕以下2件	63,294
合 計		2,715,977

(内訳) 施設・設備修繕 2,689,027
作品修復 26,950